

市が魅力を、価値を、エネルギーを「私に」伝える情報紙

広報とめ
トゥー・ミー

To Me

12

Dec 2018
Vol.283



【ときめき人】

佐藤 太洋さん

【特集】

ときめき暮らし。

My Life My Style

【今月の表紙】

登米市移住体験ツアー

(関連記事 2ページから)





ときめき暮らし。

My Life
My Style

人口減少。それは、全国の多くの自治体が抱える大きな問題です。本市では人口減少対策の柱として、シティプロモーションや移住・定住支援策を実施。今回は、それらの取り組みを通して、改めて登米市の魅力を知り、移住者や定住者を増やすために必要なまちづくりについて考えます。

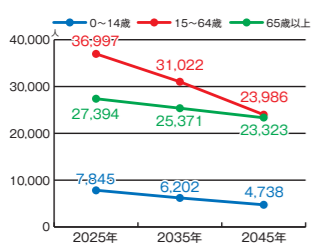
持続可能なまちづくりを

現在、多くの自治体が人口減少と少子高齢化の問題を抱え、本市においても例外ではありません。2005年の国勢調査の結果では、本市の人口は約8万9千人で、15年は約8万2千人。10年間で約7千人減少しています。さらに、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口(平成30年3月推計)」によると、2045年には約5万2千人まで減少すると予測されています。

そんな中、15年の国勢調査の結果では、都市部から過疎地域への移住者のうち、約45%が20から30歳代。自分のライフスタイルに合った場所で生活がしたい「自然環境が豊かな場所で子育てがしたい」と農村地域への移住に対する関心が、若年層を中心に高まっています。

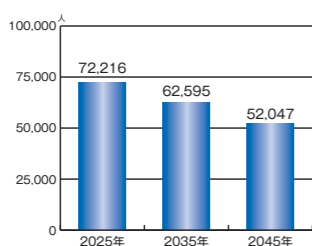
そこで、市は人口減少対策に力を入れるため、16年4月に移住・定住促進係を新設しました。シティプロモーションで市の魅力を伝えるとともに、移住・定住支援策を展開。将来にわたり活力のあるまちを持続していくため、さまざまな取り組みを進めています。

年齢区分別人口推移予測



国立社会保障・人口問題研究所
「日本の地域別将来推計人口(平成30年3月推計)」

人口推移予測



「うまし、たくまし、登米市」を発信

tome city promotion

市内外に魅力を発信し 知名度や認知度を向上

人口流出を少なくし、移住者を増やすためには、市のイメージを確立し、知名度や認知度を高めることが重要です。そこで市はシティブロモーションを実施。市民には市の魅力を再認識することで、地域への愛着や誇りを持ってもらい、市外の人には情報を発信することで、登米市に興味を持ち「登米市に行ってみよう」と、多くの人たちに選ばれるまちになることを目指しています。

まずは、市のイメージを確立するため、市民の意見を取り入れたキャッチコピー「うまし、たくまし、登米市」とロゴマークを作成。雄大な自然環境や全国的に評価が高い農畜産物の魅力と、伸び伸びとたくましく生きる人たちの活力を表現しています。ロゴマークは市に申請すれば無料で使用可能。企業や団体などが、商品、看板や社用車などに使用する事例が増え、広がりを見せています。

市民と連携した プロモーション活動に

何に魅力を感じるかは、人



1 宮城県トラック協会登米本吉支部では、トラックに貼ってPR 2 Patisserie SABUNのケーキ、クッキーなどにも使用。前日までに要予約 3 新田看板工芸が所有する看板にロゴマークを使用 4 みやぎ東和開発公社のキッチンカー「林林号」。市内外のイベントに出店し、油麩丼やはつと汁を販売 5 石巻専修大学の益満ゼミナールがシティブロモーションサポーターに登録。ゼミ生がロゴマーク入りの商品をデザインし、登米市産業フェスティバルでTシャツ、トートバック、エプロンを販売 6 サポーターの登録は企画部企画政策課(移住・定住促進係)まで ☎0220(23)7331



によって違います。より多くの人が地域への愛着を深め、自分が感じた魅力や思いを発信することが効果的。そこに住む人やイベントに参加した人が、そのときその場所できか感じることでできない雰囲気や感想を伝えることが大切です。

市は、本年度からシティブロモーションサポーター制度を開始。市のイベントや事業を連携して取り組む人や団体の募集を始めました。誰でも登録可能で、これまで約80人

が登録。現在も随時募集しています。サポーターは、自身のSNS(ソーシャル・ネットワーク)キング・サービス)などを活用し、地域の情報を発信したり、ロゴマークを活用したりしてプロモーション活動をしています。サポーター制度は、自分のペースで活動することが可能。情報発信だけでなく、サポーターが自ら考え、新たな事業やイベントが生まれるなど、地域の活性化にもつながっています。

登米市が誇る 登米師たち

登米師とは…登米市に住み、登米市のことをこよなく愛し固有の職能や秀でた技能を有する登米市民のこと。



PR動画出演 登米師



1 登米市の匠「登米師」に選ばれた21人。市シティブロモーションWEBサイトで全員を詳しく紹介 2 子どもたちも楽しみながらPR動画の撮影に参加 3 ドローンを活用して空からも撮影 4 登米師と対決する、都会から来たアスリート4人衆 5 対決の後は「はつと」を食べながら仲良く交流



登米市の魅力満載PR動画を全国に発信
移住者を増やすために、まずは「登米市」という存在自体を知ってもらう必要があります。そのため、市は2016年に郷土料理「はつと」を題材に、アクション性が高いPR動画「Go! Hatto」登米無双」を制作。動画投稿サイト「ユーチューブ」で再生回数110万回を超え、さらにはアジア最大級の国際短編映画祭である、シヨートシヨートフィルムフェスティバル&ア



POPS代表
クリエイティブディレクター
田中 淳一さん(48)

「登米市の魅力は、古里を思い起こす情景。そして、温かくておらかな人情あふれる人」が、私も大好きになった登米市に興味を持ち、来てほしいです」と願いを込めます。

アジアにおいて、全国各地の観光PR映像462作品の中から大賞である観光庁長官賞を受賞し、注目を集めました。動画の脚本を手掛けたPOPS代表でクリエイティブディレクターの田中淳一さんは「第1弾はインパクトを重視し、鮮烈にデビューさせたかった。登米無双2は、第1弾で描けなかった市民の温かさを表現しました」と振り返ります。今年10月には第3弾となる「アスリート4人衆と登米市の登米師! 登米無双3 トメられぬ市民の愛篇」を発表。「第3弾では、市民を主役にしたかったので、さまざまな職能を持っている匠たちを「登米師」として、スポットライトを当てました」と話します。



「放牧養豚の革新師」として出演
いなほ代表
鈴木 豊さん(53)

「放牧養豚の革新師」として出演いなほ代表鈴木 豊さん(53) 動画出演の話がきたときは、びっくりしました。動画に出るといっても、少しの時間だろうと思っていました。市のPRに協力できればという気持ちで出演することにしました。うちの豚は、田んぼの中にある放牧場で伸び伸びと走り回り、環境に配慮した飼育をしています。餌にもこだわり、玄米や野菜などは市内産。制作スタッフが来たときに「うちの豚、走るんです。好物はゆでたまごや生卵」と話したところ、出番が増えました。撮影には大勢のスタッフが来ていたので「成功させなくては」というプレッシャーがあり、ちゃんと走ってこれるか心配でした。豚は言葉は掛けないので、はしゃいでいる今、私の会社に畜産に興味がある若者が手伝いに来てくれていて、今回の動画で畜産に興味がある人の移住が増えればいいですね。





1 森林セラピーで自然を満喫2 空き家バンクに登録を予定している及川さん(左)の物件を見学3 体験時に宿泊できる移住お試し住宅4 夕食交流会では、新米をはじめ、市内産の牛肉、豚肉や旬の野菜を味わう5 農業体験でコマツナを収穫



自分らしく、このまちで

live support

ライフスタイルに合った生活を提案・サポート

市では、移住・定住の支援として、住宅の新築・購入費用や家賃の補助、空き家の紹介など、さまざまな取り組みを実施しています。効果的に移住・定住を推進するためには、相談者一人一人のニーズに合わせた、きめ細やかなサポート体制の構築が必要です。そこで、移住・定住を希望する人たちに情報の提供や支援をするため、2017年7月に「登米市移住・定住サポートセンター」を迫町佐沼のアルテラスおおあみ内に開設。移住希望者はもちろん、市内に定住したい人たちが快適に暮らせるようにサポートしています。



移住・定住サポートセンター
☎0220(23)8711

活に必要な情報の総合窓口。相談者の不安を解消しやすいように、ワンストップで対応できる体制になっています。

登米市を知ってもらい移住者を増やす

10月28日に、東京都で登米市単独での移住セミナーを開催。これまでも移住相談会に出席してきましたが、多くの自治体が出展しているため、説明する時間が短く、情報を伝えきれないことが課題でした。セミナーでは、移住相談会のほか、移住者の生の声を届けるため、県内初となるテレビ電話を活用した中継を実施。埼玉県から移住して就農した常永秀晃さん(米山町今泉)が、生活環境や農業について説明し「移住は、こういうライフスタイルが自分や家族に合っているのかをしっかりと考えることが大切」と参加者に伝えました。



テレビ電話を活用し、生活環境や農業について説明する常永さん家族

直接見て触れて感じる 移住体験ツアー

移住を考えている人に、市民との触れ合いなどを通して魅力を感じてもらうため、昨年からの「登米市移住体験ツアー」を実施しています。参加者が1人だけのときもありましたが、東京などでの周知活動を重ね、徐々に参加者が増えてきました。

7回目となる移住体験ツアーを10月に1泊2日の日程で開催したところ、募集人数を上回る13人が参加。農業体験、空き家見学や森林セラピーなどを実施しました。夕食交流会では市内産の新米をはじめ、牛肉、豚肉や旬の野菜を味わってもらい、登米市の魅力を見て触れて体感してもらいました。

空き家を所有する及川初夫さん(東和町米川7区)は「昨年父が亡くなり空き家になりました。空き家が増える地域が寂しくなる。誰かに活用してもらいたい、たくさん思い出が詰まった家に生き続けてほしい」と空き家バンクへの登録を予定しています。

農業体験を受け入れた、おとちグリーンステーション代表取締役の柳渕淳一さん

経験を生かして心もサポート



移住・定住サポートセンター(登米市地域おこし協力隊)

氏家 和寛さん(36)

い知ってもらうことが大切。実際に農業などを体験することができるツアーを企画しています。東京都での移住相談会などで参加を呼び掛け、体験ツアーをきっかけに移住した人もいます。

サポートセンターでは、移住・定住するための住居、就職や子育て環境などの相談対応はもちろんですが、移住の経験者だからこその相談者の不安な気持ちを取り除けるようにサポートしたいと思っています。地域や人との距離が近いサポートセンターにしていきたいので、気軽にお越しください。



移住相談会で、移住希望者から相談を受け付け。30~40歳代の人が多く来場

昨年4月に地域おこし協力隊として登米市に採用され、札幌市から移住してきました。現在は主に移住・定住サポートセンターに勤務しています。

移住を考えたいきっかけは、子育ての環境です。札幌市に住んでいた頃は、生活は便利でしたがアパート暮らしだったため、迷惑にならないように生活音を常に心配していました。子どもには、走り回ったり、大きな声を出したりして元気に育ってほしかったので、移住を検討。地域おこし協力隊の募集イベントで声を掛けられて話を聞き、妻も賛成してくれたので、移住することを決めました。登米市は、自然が豊かで商業も発展した「ちよっどいい田舎」。とても住みやすく、よそ者を受け入れてくれる「人の温かさ」がうれしかったです。

サポートセンターでは、市内外からの相談に随時対応しています。移住を検討している人には、まず登米市に来てもら

(米山町迫土地)は、農業研修や新規就農者を積極的に受け入れていきます。「受け入れる理由は、若い担い手を育成するため。農業生産法人などでは、就農希望者を受け入れる体制があると思いますが、移住者は就農することへの不安があるはず。本市には、誰もが使用できる短期研修のための滞在施設がないのが課題だと感じています。研修しやすい環境にすることで、より移住先に選んでもらえるようになると思います」と受け入れ体制の課題を指摘します。

「担い手不足は深刻な課題。私の会社では、継続的な農業経営ができるように、若い人を積極的に採用し、従業員の平均年齢は30代前半です。移住・定住者が増えることは、農業だけではなく地域の活性化にもつながります。住みたいと思ってもらうためには、私たち一人一人が受け入れる心を持つことが大切」と地域全体の将来を考えています。



おとちグリーンステーション 代表取締役 柳渕 淳一さん(61)

参加者interview

福田隆史さん(36) 家族 (東京都世田谷区)

田園風景が広がる環境で、子どもを伸び伸び育てたいと考え移住を検討しています。農業に興味があり、就農したいと思っています。今回は、実際に移住して就農した人から話を聞くことができ、とても参考になりました。

松田恵美さん(34) (東京都品川区)

母の実家が東和で、登米市にはたまに来ていました。子どもの頃から自然の中で遊ぶのが好きで、大人になった今でも自然と触れ合える生活がしたいという思いは変わりません。自然とともに落ちついた生活がしたいです。



人と地域に寄り添う不動産屋さん

まちおもい

代表取締役 大山 敏幸さん

取締役専務 長岡 美穂子さん

東和町で生まれ育ち、高校を卒業してから仙台市で働いていた大山さんは「いずれは、古里のために何か貢献したい」という思いを強く持っていました。どういふ方法で貢献できるかを模索していたところ、登米市の空き家が約800件あり、そのうちの200件以上が東和町だと知りました。地域の資源を使って古里を活性化したいと考え、空き家を紹介する不動産業を始めることにしました」と、帰郷することを決意しました。

山形県出身の長岡さんは、自身も起業を考えていたところ、ちょうど不動産の有資格者を探していた大山さんに誘われ経営方針に賛同。自身も東和町に移住し、2人で不動産会社「まちおもい」を設立しました。地域に寄り添った、まちづくりの役割も担う不動産会社を目指し、空き家や農地をどうしたら活用できるかから相談を受け、空き家の片付けも手伝っています。

「移住者には、いつまでも住み続けてもらいたい

で、買い物などの不便なところも説明しています。私が移住して感じたことは、この地域の人には移住者を受け入れてくれる温かくて広い心があること。空き家を紹介しながら地域の人も紹介しています」と長岡さん。2人が目指すのは、人と地域の「おもい」をつなぐこと。大山さんは「移住者はもちろん、受け入れる地域の人にも不安があると思います。建物に住むというよりも地域に住んでもらいたいと思っています。そのためには、地域に住む『人』を知ってもらうことが大切。入居が決まったときも一緒にあいさつ回りをして、人と人とのつながりを重視しています。安心して地域に解け込めるように心掛け、移住した人からはもちろん、地域の人からも喜んでもらえることがうれしい」と話します。

「少しでも多くの人と地域をつなぎ、50年後、100年後も持続可能な地域にしていきたい」と話す2人は、これからも人と地域の「おもい」をつなぎ続けます。

夫婦で工務店を経営していたので、東日本大震災で被災した人たちを手伝いたいと思い、埼玉県から宮城県に移住しました。県内を転々としながら生活していましたが、里山があるような田舎で腰を据えて生活したいと思っていました。家族で追分温泉に行く機会があり、津山町を通ったときに、住める場所がないか聞いてみました。すぐに工務店を経営するための作業小屋を貸してくれるという話になり、その後も親身になって空き家を探してくれました。



匠さんが自分で自宅をリフォーム
宿谷工務店 ☎0225-98-7218

里山と小川があり、静かで鳥のさえずりが聞こえる環境が気に入りました。野菜を分けくれたり、子どもたちにも声を掛けてくれたり、子どもにお下がりを持ってきてくれたりすることもありません。ここでは当たり前かもしれませんが、私たちに驚きの連続でした。何かあれば自分のことのように心配し、うれしいことがあると一緒に喜んでくれる人たちに出会えたことが本当にうれしいです。人と人との絆や助け合う心の大切さを子どもたちにも伝えていきたいです。

皆さんの「気づかい」に心から感謝



宿谷 匠さん(43) / 千穂さん(39)
虹太くん(9) / 梁太くん(5)
津山町横山2区

人との出会いが何よりの宝物

登米市に移住し、新たな人生を歩きはじめた人たちに話を聞きました。



桂川 怜さん(37)
米山下小路

移住する前は、仙台市でシステムエンジニアの仕事をしていました。帰りも遅く、職場と家を往復するだけの毎日に疲れ、自然に触れ合いながら生活や仕事がしたいと思ったのが移住のきっかけです。市の移住・定住サポートセンターに行き、移住体験ツアーに参加しました。サポートセンターでは、生活面だけではなく仕事についても相談に乗ってもらったので助かりました。仕事は、おっとちグリーンステーションで主にニンニクの栽培を担当しています。農業は初めての経験で、体力的には本当に厳しい時期もありました。今では作業にも慣れて、仕事も少しずつ任せてもらえるようになり、やりがいを感じています。職場の人たちも本当に良くし

てくれて、ミスをしたとしても「いがす、いがす」と言ってみ守ってくれるので、次はミスしないようにと、前向きに考えることができます。外から来た私を、ずっと昔からいたように接してくれる、優しく心広い人たちと出会えたことがうれしいです。今は、四季を感じながら心にゆとりを持って生活できることに喜びを感じています。



出荷に向けてニンニクの皮むき作業をする桂川さん

四季を感じながら心にゆとりある生活を



1 事務所も空き家をリフォームして活用。☎0220(23)9827 2 空き家を紹介する大山さん。リフォームが必要な箇所を細かく説明。写真右から大山さんと長岡さん



将来のために、今できること

市は、移住・定住の促進を行政だけではなく、市民や市内の団体、企業と連携・協力して進めるため「登米市移住・定住官民連携促進会議」を設置。登米市全体を巻き込んで取り組んでいます。私たち市民には何が求められるのかを移住・定住官民連携促進会議の及川委員長に聞きました。

人はすぐに増えないが、登米市を選択する「きっかけ」をつくることはできる

ライフスタイルを見直し、移住を検討する若い人が増えていますが、最初は「何となく生活を変えたい」「こんなまちがいいな」と漠然とした思いから移住を考えるものです。そのときに登米市が移住先の選択肢になる「きっかけ」をつくるのが重要。そのきっかけをつくるためには、市民全員が地域の良さを言えるようになることが大切です。

とめタウンネットの事業で、東京都に住む大学生が登米市に来ることがありますが、移住したいという学生も実際にいます。そう思わせる最大の要因は人とのつながり。登米市に来たときに人の温かさに触れ、絆が生まれることで、また来たいと思うようになりま。そして、いい思い出や人との出会いというのは人から人へ伝わり、どこまでも広がる可能性があります。10年後、20年後に移住を検討したときに、楽しかった思い出や登米市とつながりのある人

から聞いた魅力が心に残っていれば、それが移住先に選ばれるきっかけになるかもしれません。

登米市民には、人を快く受け入れる気質が備わっています。地域のために活動したり、情報発信したりする人も増えています。その一方で、市の将来に無関心な人が多いのも事実。その人たちをどう巻き込んでいけるかが課題です。「ここは何もなくてつまらない」という話を聞くと、悲しさや悔しさがやりきれなくなりま。移住・定住者を増やすためには、活力あるまちを持続していかなければなりません。今すぐに人口減少を止めることは難しいですが、人口が1割減っても、地域を思い、地域を元気にしたいと思う人が1割増えれば登米市の衰退は防げると思います。

地域をあきらめず、活性化させようとすると「人」や「コト」を増やしていくことが、結果として移住・定住者を増やすことにつながるはず。

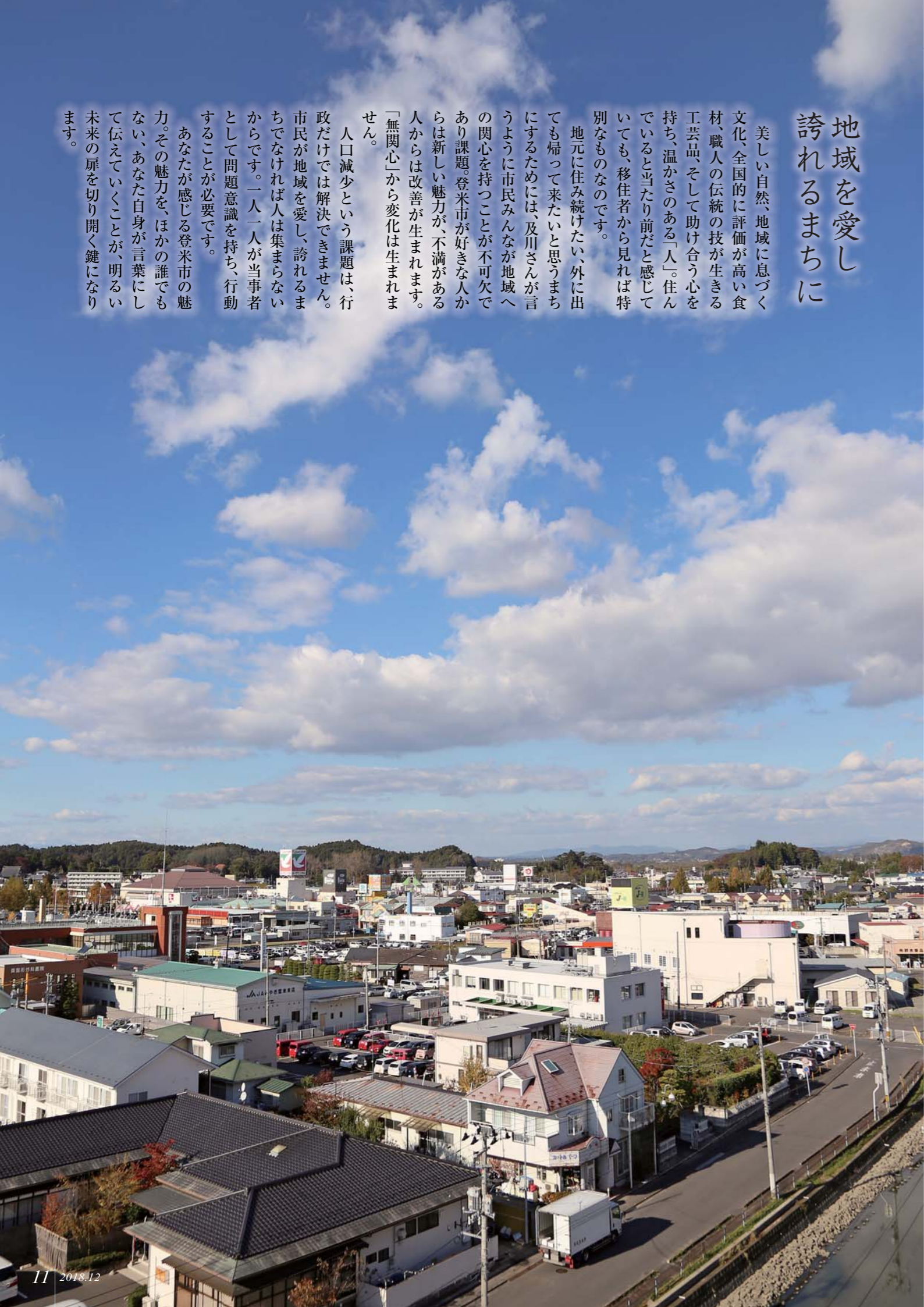
地域を愛し誇れるまちに

美しい自然、地域に息づく文化、全国的に評価が高い食材、職人の伝統の技が生きる工芸品、そして助け合う心を持ち、温かさのある「人」。住んでいると当たり前だと感じていても、移住者から見れば特別なものなのです。

地元に住み続けたい、外に出ても帰って来たいと思うまちにするためには、及川さんが言うように市民みんなが地域への関心を持つことが不可欠であり課題。登米市が好きな人からは新しい魅力が、不満がある人からは改善が生まれます。「無関心」から変化は生まれません。

人口減少という課題は、行政だけでは解決できません。市民が地域を愛し、誇れるまちでなければ人は集まらないからです。一人一人が当事者として問題意識を持ち、行動することが必要です。

あなたが感じる登米市の魅力。その魅力を、ほかの誰でもない、あなた自身が言葉にして伝えていくことが、明るい未来の扉を切り開く鍵になります。



及川 幾雄さん(53)

Profile
NPO法人とめタウンネットの理事長であり、起業支援などの活動を通じて地域コミュニティの再生や地域活性化に尽力。今年3月に登米市移住・定住官民連携促進会議の委員長に就任。

ときめき暮らしを応援します。

安心して登米市に住み続けられるように、市では、さまざまな支援施策を実施しています。また、掲載しているほかにも各種支援施策がありますので、詳細は市公式ホームページをご覧ください。各担当課にお問い合わせください。

新たなチャレンジを応援 起業・技術開発支援

●ふるさと創生ベンチャー起業支援事業

農・商・工分野の地域資源を生かした起業・創業をする人に、創業時に必要とする設備資金・運転資金を最大240万円助成します。また、資金を融資します(金利1%、融資限度額1千万円など)。

☎産業経済部産業連携推進課(産業連携係)

☎0220(34)2549

●ビジネスチャンス支援事業(農林業・研究開発)

地域資源を生かした加工、販売施設整備、商品開発、販路開拓、学術機関などと連携した技術開発などに要する経費を助成します。

☎産業経済部産業連携推進課(産業連携係)

☎0220(34)2549

●空き店舗活用事業

市内にある空き店舗を活用し、3年以上継続して事業活用する商店街団体など、または新規出店者に店舗改修費を最大35万円、店舗賃借料を月額最大2万5千円まで、1年間助成します。

☎産業経済部商業観光課(商業振興係)

☎0220(34)2734

●ビジネスチャンス支援事業(商工業支援)

新規マーケット開拓、人材育成やデザイン、商品力向上、商品開発、イメージアップに向けた店舗改修などの事業に要する経費を助成します。

☎産業経済部商業観光課(商業振興係)

☎0220(34)2734

すくすく安心育児 子育て支援

●誕生祝金

第3子以降の子ども1人につき、祝金10万円を支給します。

☎福祉事務所子育て支援課(児童福祉係)

☎0220(58)5562

●子育て用品支給事業

満1歳未満の乳児がいる家族に紙おむつや育児用品を支給します。乳児1人当たり月額3千円とし、登米市子育て用品支給券により支給します。

☎福祉事務所子育て支援課(児童福祉係)

☎0220(58)5562

●保育料・幼稚園授業料の負担軽減

市では国基準の約6割以下に設定しており、第2子は半額負担、第3子以降を無料とします。

☎保育料:福祉事務所子育て支援課(子ども保育係)

☎0220(58)5562

幼稚園授業料:教育部学校教育課(教育振興係)

☎0220(34)2679

●認可外保育施設保育料助成事業

認可外保育施設に通所している児童の保護者に、児童1人当たり月額最大1万5千円を助成します。

☎福祉事務所子育て支援課(子ども保育係)

☎0220(58)5562

●入学祝金

新たに小学校へ入学する第3子以降の子ども1人につき、祝金3万円を支給します。

☎教育部学校教育課(教育振興係)

☎0220(34)2679

●子ども医療費助成制度

18歳(高校生世代)までの子どもを対象に、医療機関に支払う保険適用の自己負担分を助成します。

☎市民生活部国保年金課(年金医療係)

☎0220(58)2166

●妊婦一般健康診査

妊婦一般健康診査の費用14回分を助成します。また、里帰り出産などで宮城県内指定医療機関以外の医療機関で、妊婦健康診査を受診した人についても費用を助成します。

☎市民生活部健康推進課(健康推進係)

☎0220(58)2116

●よりそい・ほっと相談(助産師相談)

お産、母乳育児、子育てなどについて助産師に相談できます。相談は毎月第3火曜日で予約制です。

☎市民生活部健康推進課(地域保健係)

☎0220(58)2116

新生活をサポート 住居支援

●住宅取得補助金

市内に住宅を新築または購入(中古住宅を含む)した人に、取得費総額の10%(上限80万円)を助成します。

☎企画部企画政策課(移住・定住促進係)

☎0220(23)7331

●空き家情報バンク

空き家の物件情報を「空き家情報バンク」に登録し「借りたい・買いたい」と考えている人に情報を提供しています。

☎企画部企画政策課(移住・定住促進係)

☎0220(23)7331

●地域材需要拡大支援事業

市内産の木材を主要構造材の50%以上使用して市内に居住用の住宅を建築・増築する場合に50万円を上限に助成します。

☎産業経済部産業振興課(林業振興係)

☎0220(34)2716

●ひだまりタウンよねやま 二次分譲募集

米山町中津山に整備した宅地を分譲します。価格は168万円台からで募集期間は12月10日までです。

☎建設部住宅都市整備課(都市整備係)

☎0220(34)2316

●住宅家賃補助金

どちらか1人が40歳未満の移住した夫婦を対象に、住宅家賃(月額最大1万5千円)を2年間助成します。

☎企画部企画政策課(移住・定住促進係)

☎0220(23)7331

●空き家改修事業補助金

空き家情報バンクを利用した空き家所有者および利用者に、空き家改修費の50%(上限50万円)を助成します。

☎企画部企画政策課(移住・定住促進係)

☎0220(23)7331

●定住促進住宅

市内に定住を希望し住宅を必要としている人に、一定の収入要件と公募により住まいを提供します(月額家賃20800円~30500円、月額駐車料2千円)。

☎建設部住宅都市整備課(住宅整備係)

☎0220(34)2316



農業というライフスタイル 就農支援

●新規農業者支援事業

新規就農希望者が市内受入農家(農業法人など)で研修する場合、研修終了後に市内で5年以上就農することを条件に、生活費の一部を助成します。独身者:月額3万円以内、夫婦:月額5万円以内

☎産業経済部産業振興課(農業経営支援係)

☎0220(34)2491

●担い手経営開始支援事業

新規就農者が市内で5年以上就農することを条件に、農地を取得または賃借する場合、10㎡当たり5千円を助成します。また、随時就農相談を受け付けています。

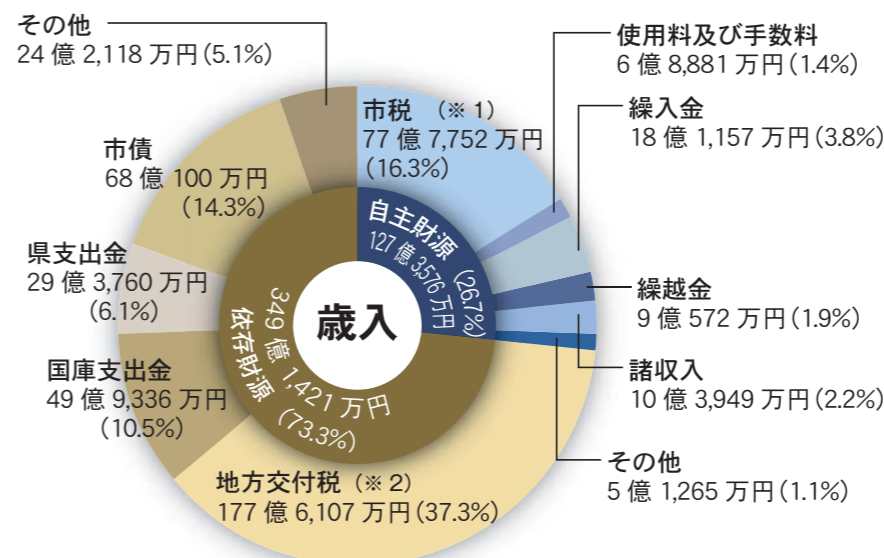
☎産業経済部産業振興課(農業経営支援係)

☎0220(34)2491

決算報告

市は、市の財政状況を随時皆さんにお知らせしています。皆さんが納めた税金が、この1年間でまちづくりはどう使われたのか、一般会計を中心に、概要をお知らせします。

一般会計歳入総額 476億 4,997万円



(※1) 市民税 33億 7,321万円(7.1%)、固定資産税 35億 109万円(7.3%)、軽自動車税 2億 9,315万円(0.6%)、市たばこ税 6億 941万円(1.3%)、水利地益税 66万円(0.0%)
 (※2) 普通交付税 162億 4,381万円(34.1%)、特別交付税 11億 9,182万円(2.5%)、震災復興特別交付税 3億 2,544万円(0.7%)

■表1 会計別決算状況

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計	476億 4,997万円	462億 2,055万円	14億 2,942万円
特別会計			
国民健康保険	111億 7,363万円	105億 3,320万円	6億 4,043万円
後期高齢者医療	8億 3,094万円	8億 1,468万円	1,626万円
介護保険	96億 4,378万円	93億 6,947万円	2億 7,431万円
土地取得	1億 4,455万円	1億 4,454万円	1万円
下水道事業	49億 8,760万円	48億 9,295万円	9,465万円
宅地造成事業	2億 927万円	1億 6,608万円	4,319万円
企業会計			
水道事業	収益的収支 26億 2,055万円 資本的収支 9億 7,550万円	23億 8,526万円 20億 4,235万円	2億 3,529万円 △ 10億 6,685万円
病院事業	収益的収支 67億 4,790万円 資本的収支 11億 6,321万円	79億 4,718万円 11億 9,418万円	△ 11億 9,928万円 △ 3,097万円
老人保健施設事業	収益的収支 3億 9,932万円 資本的収支 6,171万円	4億 4,726万円 6,017万円	△ 4,794万円 154万円

■表2 平成29年度決算に基づく健全化判断比率 (単位：%)

指標名	内容 (標準財政規模に対する割合)	健全化判断比率	基準値(平成29年度)	
			早期健全化基準	財政再生基準
① 実質赤字比率	一般会計の赤字額の大きさ	-	11.92	20.00
② 連結実質赤字比率	公営企業会計を含む赤字額の大きさ	-	16.92	30.00
③ 実質公債費比率	借金の返済に充てた額の大きさ	7.9	25.0	35.0
④ 将来負担比率	将来負担すべき借金などの大きさ	77.7	350.0	-

29年度一般会計歳入決算額は476億4997万円、その内訳は、地方交付税が177億6107万円(歳入全体の37.3%)、市税が77億7752万円(16.3%)、市債が68億100万円(14.3%)、国庫支出金が49億9336万円(10.5%)、県支出金が29億3760万円(6.1%)、その他が24億2118万円(5.1%)となっており、一般会計歳入総額は476億4997万円です。

また、一般会計歳入の内訳は、地方交付税が177億6107万円(37.3%)、市税が77億7752万円(16.3%)、市債が68億100万円(14.3%)、国庫支出金が49億9336万円(10.5%)、県支出金が29億3760万円(6.1%)、その他が24億2118万円(5.1%)となっており、一般会計歳入総額は476億4997万円です。

また、一般会計歳入の内訳は、地方交付税が177億6107万円(37.3%)、市税が77億7752万円(16.3%)、市債が68億100万円(14.3%)、国庫支出金が49億9336万円(10.5%)、県支出金が29億3760万円(6.1%)、その他が24億2118万円(5.1%)となっており、一般会計歳入総額は476億4997万円です。

平成 29 年度
歳出決算額を市民一人
当たりで見ると… 57万 4,340円

住民基本台帳人口
80,476人
(平成30年3月末人口)

民生費
16万 3,593円

赤ちゃんからお年寄りまで幅広い福祉の充実などに使われる経費



公債費
8万 7,361円

借り入れた市債の元利償還費などに使われる経費



総務費
6万 6,305円

行政の運営、庁舎や財産の維持管理などに使われる経費



教育費
6万 3,040円

学校などの整備や教育振興に使われる経費



衛生費
6万 2,145円

保健衛生、健康づくり、ごみ対策などに使われる経費



土木費
5万 5,289円

道路や公園などの整備に使われる経費



農林水産業費
3万 5,956円

農業や畜産などの振興と育成のために使われる経費



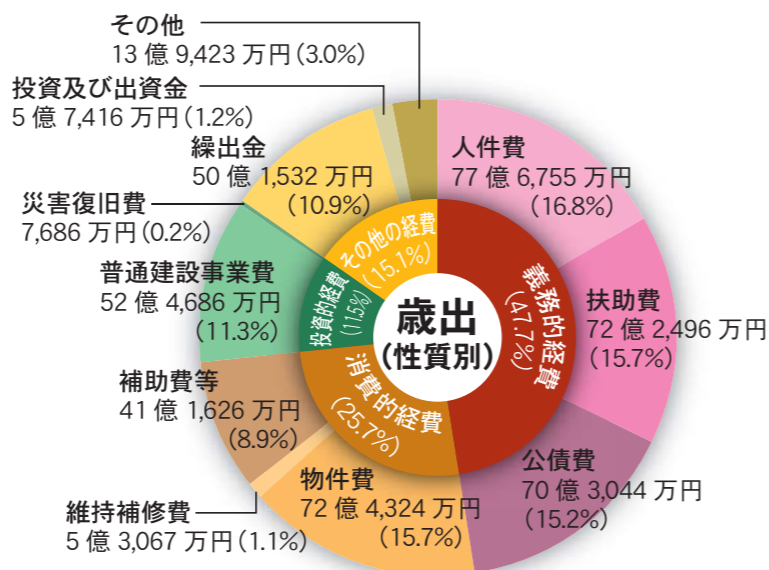
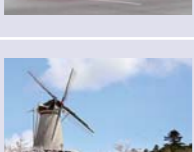
消防費
2万 333円

火災自然などの防災活動のために使われる経費

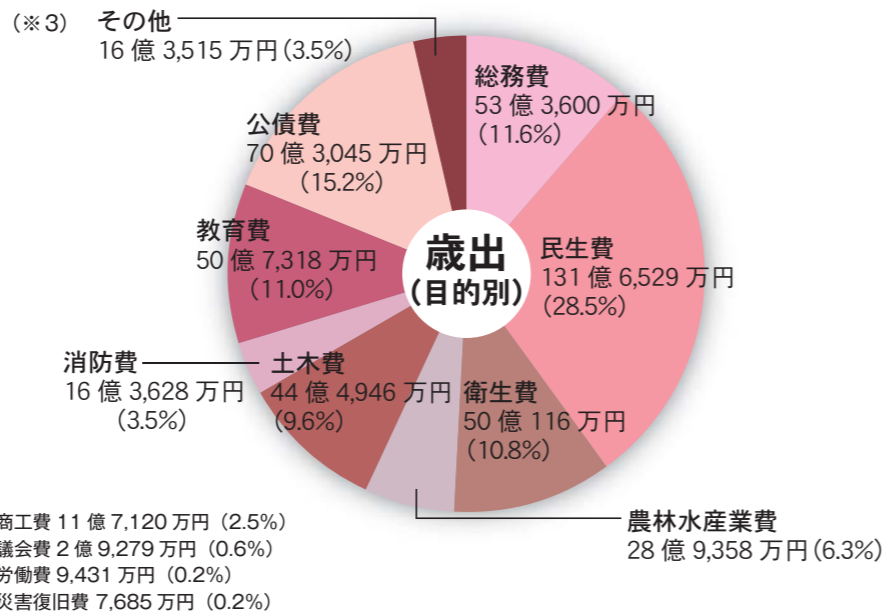


その他
2万 318円

議会費・労働費・商工費・災害復旧費など



一般会計歳出総額 462億 2,055万円



(※3) 商工費 11億 7,120万円 (2.5%)
 議会費 2億 9,279万円 (0.6%)
 労働費 9,431万円 (0.2%)
 災害復旧費 7,685万円 (0.2%)

■表3 平成29年度決算に基づく資金不足比率 (単位：%)

区分	資金不足比率	資金不足額	事業の規模	経営健全化基準
① 水道事業会計	-	-	21億 1,882万円	20.0
② 病院事業会計	12.7	7億 5,279万円	58億 8,506万円	20.0
③ 老人保健施設事業会計	-	-	3億 7,106万円	20.0
④ 下水道事業特別会計	-	-	8億 108万円	20.0
⑤ 宅地造成事業特別会計	-	-	48万円	20.0

財政の健全化判断比率は、自治体の財政破綻を未然に防ぐために制定された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき算出しています。

29年度の各指標は、全て基準値をクリアしていますが、病院事業会計で資金不足比率が12.7%となっています。

財政の健全化判断比率は、自治体の財政破綻を未然に防ぐために制定された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき算出しています。

29年度の各指標は、全て基準値をクリアしていますが、病院事業会計で資金不足比率が12.7%となっています。

【問い合わせ】企画部財政課
☎0220(22)2159

地域経済の発展期待

七十七銀行と協定を締結

「登米市と七十七銀行の地方創生に向けた包括連携に関する協定締結式」は10月15日、迫庁舎で開かれ、市と七十七銀行(小野寺芳一常務取締役)が協定を締結しました。

七十七銀行は、企業誘致、創業や新規事業創出支援のほか、地方創生などで市に協力。互いの資源を効果的に活用しながら、地域経済の持続的発展につなげる内容が協定書に盛り込まれています。熊谷盛廣市長は「金融機関の持つ豊富な情報やネットワークを生かし、地域経済の持続的発展に向け、より連携を密に産業振興を進めていきたい」と期待を込めました。



協定書を手にする熊谷市長(左)と小野寺常務。小野寺常務は「民間のノウハウを生かして地方創生に協力したい」と語りました。

思い出は今も鮮明に

神奈川大附属中生と再会

神奈川大学附属中学校の学園祭「第34回くすのき祭」は9月29、30の両日、同校で開催され、登米市グリーン・ツーリズム推進協議会の会員14人が参加しました。

同校は、毎年登米市でファームステイを実施。生徒の家族とも交流することを目的に、毎年学園祭で新米、野菜や農産加工品などを販売しています。ファームステイ参加者の保護者、福元美奈さんは「子どもがお世話になってから、毎年この学園祭で農家さんに会えるのを楽しみにしています。子どもの成長の報告や年賀状のやり取りもしています」と再会を喜んでいました。



販売ブースではファームステイで登米市を訪れた生徒が、受け入れ農家と思い出を語り合っていました。

懐かしのハーモニー

市役所で童謡コンサート

はさま童謡を歌う会(吉田博子代表)の「ふれあいコンサート」は10月16日、市役所迫庁舎で開かれ、多くの来場者が懐かしい童謡と優しい歌声を楽しみました。

コンサートでは、童謡の「あかとんぼ」「あの町この町」や登米市市民歌などを来場者と一緒に合唱。会場は一体感に包まれ、美しい歌声のハーモニーが会場に響いていました。菅原暢子さん(83)＝東和町錦織1区＝は「童謡を歌う会の皆さんは、声が若くうらやましいですね。開催するまでいろいろ大変だと思いますが、これからも歌声を聞かせ続けてほしいです」と次の開催を楽しみにしていました。



立ち見が出るほど多くの人が訪れ、美しい歌声に耳を傾けていました。

異国文化に興味津々

北方小でアチェ人と交流

「インドネシア共和国アチェとの交流活動」は10月3日、北方小学校(児童188人、菅原克也校長)で開かれ、アチェ人3人と同校の4年生35人が交流しました。

交流会では、アチェ人が文化や食べ物、歌などを紹介。児童たちからアチェ人への質問タイムでは、初めて知る他国の文化や風習などに驚きの声が上がっていました。参加した高橋巧くん＝迫町山の内＝は「初めは緊張したけど、アチェの人たちが優しくて楽しかったです。クイズでは、今まで知らなかったアチェのことを知ることができて勉強になりました。また来てほしいです」と笑顔で話していました。



児童たちからは「アチェ人でもお祈りしない人はいますか」などのさまざまな質問があり、楽しみながら交流しました。

東北最大級のフリマ

市内外の4万5千人来場

「佐沼秋のフリーマーケット」(登米中央商店会協同組合主催)は10月21日、中江中央公園などで開かれ、市内外から約4万5千人が来場しました。

フリーマーケットには、約410の雑貨や骨董品、飲食物のブースが出展。自衛隊や消防の体験コーナー、登米市出身の柳ジュン氏、松本蛍氏などのステージイベントなどもあり、会場は大いに盛り上がりました。佐々木秀太郎さん(39)＝迫町中江＝は「家族4人で来ました。自衛隊の乗り物体験や多くのおもちゃの出品があり、子どもたちが楽しそうだったので来て良かったです」と目を細めていました。



秋晴れの中、出展者と来場者は会話や値段交渉をしながら買い物を楽しみました。

人生で縁のある場所

隈氏が登米への思い語る

2020年東京五輪・パラリンピックの主会場となる新国立競技場を設計した建築家隈研吾氏の講演会(県、とよま振興公社主催)が10月13日、登米公民館で開かれました。

隈氏は「『場所の力』森舞台～新国立競技場～新登米懐古館(仮称)」をテーマに講演。森舞台や現在建設中の新登米懐古館(仮称)をはじめ、携わってきた建築物を紹介しながら思いを語り、来場者約450人が熱心に耳を傾けました。西ノ宮啓太さん(27)＝仙台市＝は「隈氏の設計に向き合う姿勢と思い入れを聴きました。講演の内容を、自分の仕事にも生かしていきたい」と力を込めました。



「森舞台の設計当時、地方の素材の面白さ、木の素晴らしさに気付かされた。登米は、私の人生にとって縁のある場所」と語る隈氏。

■賃借料情報【田(水稲)】

【基盤整備地域】
(10㌔当たり、100円未満四捨五入)

地域	平均額(円)	最高額(円)	最低額(円)	データ数(件)
迫	15,500	20,000	12,000	205
登米	15,800	20,000	10,000	71
東和	18,100	22,000	12,000	18
中田	15,400	22,000	5,000	351
豊里	15,200	25,000	7,500	127
米山	15,600	25,000	5,000	494
石越	17,200	22,000	15,000	148
南方	14,900	25,000	5,000	423
津山	20,000	20,000	20,000	4
登米市	15,500			1,841

■賃借料情報【畑】

(10㌔当たり、100円未満四捨五入)

地域	平均額(円)	最高額(円)	最低額(円)	データ数(件)
登米市	6,100	15,000	5,000	25

【未整備地域】

(10㌔当たり、100円未満四捨五入)

地域	平均額(円)	最高額(円)	最低額(円)	データ数(件)
迫	12,700	20,000	5,000	101
登米	9,300	15,000	5,000	15
東和	13,000	22,000	5,000	51
中田	12,700	20,000	4,200	154
豊里	11,000	15,000	7,500	47
米山	12,800	20,000	5,000	141
石越	12,500	21,000	10,000	152
南方	12,800	20,000	5,000	103
津山	18,000	18,000	18,000	10
登米市	12,600			773

※親族間などの特殊な賃貸借契約は除いています
※物納の場合は1俵12,000円の計算です
※畑は提供できる賃借料情報が少ないため、地域区分を市全体としています

過去1年間(平成29年8月〜平成30年7月)の農地の賃借料情報を提供します。農地の賃貸借契約を結ぶ場合は、この情報を参考に、貸し

手と借り手の双方で協議してください。
【問い合わせ】農業委員会事務局(農地管理係)
☎0220(34)2317

Information 04

契約を結ぶ参考に農地の賃借料情報

ILC(国際リニアコライダー)とは、International Linear Collider(直線)Collider(衝突型加速器)の略称で、高エネルギーの電子と陽電子の素粒子を高速で衝突させ、人工的に宇宙誕生後に起きたビッグバンを再現して宇宙誕生の謎などに迫る世界最先端の実験装置です。この装置を日本に建設することになった場合、候補地として岩手県と宮城県にまたがる北上山地が

Information 02

世界最先端の実験装置 ILCを東北に

最有力とされています。建設が実現すれば、登米市においても産業振興、人材育成や移住・定住者の増加などの効果が期待できます。
現在、政府では国際プロジェクトであるILCの日本誘致を検討していますが、今年中に誘致の是非を判断することが国際的に求められています。
こうしたことから、10月31日に宮城県北部の4市(登米市、栗原市、大崎市、気仙沼市)、同

Information 01

はつとで「はつと」はつとフェスティバル

市内外各地から「はつと」するはつと料理が登米市に勢ぞろいします。地場産品販売コーナーのほか、近隣地域の郷土料理が味わえるコーナーもあります。ステージでは、はつと踊りやよさこいなどの演出があり、会場を盛り上げます。この会場でしか食べられない味もありますので、ぜひお越しください。
【日時】12月2日(日)午前10時〜午後2時
【会場】迫中江中央公園(市役所迫庁舎前)
【問い合わせ】第15回日本一はつとフェスティバル実行委員会事務局
☎0220(52)4648

▼産業経済部商業観光課(観光物産係)
☎0220(34)2734



市議会や経済団体が一体となり、政府と関係国会議員を訪問し「国際リニアコライダー日本誘致に関する要望」を提出しました。今後も、近隣市などと連携しながら、誘致を進めていきます。

Information 05

災害時の確実な情報は緊急告知ラジオで

緊急告知ラジオは、緊急情報を伝えるとともに、コミュニティFM局の「はつとエフエム」を聞くことができるラジオです。災害時などに緊急情報が放送されると、自動的にラジオが起動して情報が流れます。通常時でも、電池を入れ、コンセントに挿した状態で電源を切り、待機状態にしておいてください。なお、通常の放送は音量調整できますが、緊急情報は最大音量で放送されます。

合は、お近くの総合支所でお渡しします。転入世帯には転入手続きのときに無償で貸し出します。
Q2 受信ランプが点滅して、音が聞き取れない。
A2 アンテナの角度や置く場所を変えてみてください。それでも改善されない場合は、防災課または総合支所で簡易的なアンテナをお渡しします。なお、ご連絡ください。
Q3 防災行政無線で流れるお知らせが、緊急告知ラジオで流れないのは故障か。
A3 緊急告知ラジオは、防

災行政無線とは異なります。屋外の防災行政無線で放送されたお知らせは、はつとエフエムの番組内で聞くことができます。
【告知放送試験について】毎月11日午前11時頃に、告知放送の試験をしています。最大音量で流れますので、ご理解願います。
※市メール配信サービスに登録すると携帯電話などで災害情報などを取得できます
【問い合わせ】総務部防災課(防災危機対策係)
☎0220(22)2130

緊急告知ラジオQ&A
Q1 ラジオが手元にならない。また、転入世帯はどうなるのか。
A1 ラジオが手元にならない場合、



人権擁護委員に小野寺裕さんが再任

小野寺裕さん(東和町・再任)が10月1日付けで、法務大臣から人権擁護委員の委嘱を受けました。

人権擁護委員は、私たちのまちの身近な相談パートナーです。毎日の生活を営んでいく上で、これは「人権問題ではないか」「法律が分からないので困っている」ときは、一人で悩まずご相談ください。相談は無料で、秘密は固く守られますのでご安心ください。

【問い合わせ】
仙台法務局登米支局(総務係)
☎0220(52)2070

Information 03

市職員募集

このまちのためにできることがある

■試験区分、職種、採用予定人員など

試験区分	職種	採用予定人員	受験資格
上級 (大学卒業程度)	保健師	3人程度	昭和58年4月2日以降生まれの人で、保健師の資格を持つ人(平成31年4月30日までに取得見込みも含む)
	管理栄養士	1人程度	昭和58年4月2日以降生まれの人で、管理栄養士の資格を持つ人(平成31年4月30日までに取得見込みも含む)

※採用予定人員は、変更することがあります。採用は、平成31年4月1日の予定です

■試験日程 【試験日】1次試験:平成31年1月27日(日)、2次試験:2月中旬または下旬予定

【会場】1次試験:市役所迫庁舎、2次試験:1次試験合格者に通知

■受付期間 12月3日(月)~17日(月)午前8時30分~午後5時15分[平日]

※郵送の場合は、受付期間中の消印のものに限ります

■受験申込 12月3日(月)から、申込書と試験実施要綱を総務部人事課、または各総合支所窓口で配布します(午前8時30分~午後5時15分[平日])。郵便で請求する場合は、封筒の表に「職員採用統一試験申込書請求」と朱書きし、宛先を明記した120円切手が貼ってある返信用封筒(A4版が入る大きさ)および連絡先(電話番号)を明記した任意の用紙を必ず同封してください。詳しくは、市公式ホームページをご確認ください

【申し込み・問い合わせ】
総務部人事課(人事研修係)
〒987-0511 登米市迫町
佐沼中江2-6-1
☎0220(22)2145



12月の献血日程

- 1日(土)
 - ▶イオンタウン佐沼 10:00 ~ 11:45
 - 13:00 ~ 16:30
- 20日(木)
 - ▶消防防災センター 9:30 ~ 11:30
 - ▶JA みやぎ登米本店 13:00 ~ 14:30
 - ▶佐沼警察署 15:30 ~ 16:30
- 25日(火)
 - ▶迫保健センター 14:45 ~ 16:30

※日程は変更になる場合があります。最新の日程については、市公式ホームページをご覧ください。下記にお問い合わせください。

【問い合わせ】
市民生活部健康推進課
(健康推進係)
☎0220(58)2116

自殺予防
仙台いのちの電話

誰にも言えない気持ち
聞かせてください。

☎022(718)4343

いろいろなことに、悩み、苦しんでいる人の「こころの声」を聴きます。

子ども夜間安心コール

●電話番号
#8000
(プッシュ回線の固定電話、携帯電話から)
☎022(212)9390
(プッシュ回線以外の固定電話、PHSから)
●相談時間
毎日午後7時~翌朝午前8時

休日・夜間診療案内

休日・夜間診療案内は下記の番号です(24時間対応)
☎0229(24)2267

ヘルプマークを配布します。ヘルプマークは、カバンにつり下げること、義足や人工関節を使用している人、内部



ヘルプマークを身に着けた人を見かけたときは援助や配慮をお願いします

12月のこころの相談	
日	場所・受付時間・担当・予約先
3月	津山ふれあいセンター 13:30~15:30 医師 ☎0225(68)3114(津山総合支所)
18日	南方保健センター 13:30~15:30 医師 ☎0220(58)2113(健康推進課)
21日	迫保健センター 13:30~15:30 臨床心理士 ☎0220(22)5554(迫総合支所)
精神科医師などが相談に応じます。安心してご相談いただくため、完全予約制です。相談日(土日、祝日を除く)まで、各予約先まで申し込みください。	
登米市民病院小児科日曜日救急診療	
●診療時間 9:00~17:00 (受付16:30まで) 【問い合わせ】登米市民病院 ☎0220(22)5511	

障害や難病の人など、外見からは分からなくても援助や配慮を必要としていることを周囲の人に知らせ、援助や支援を受けやすくするものです。【配布開始】12月3日(月)【配布方法】希望する人は各総合支所市民課に申請してください。※代理申請も可能です【問い合わせ】福祉事務所生活福祉課(障害福祉係) ☎0220(58)5552 ☎0220(58)2375

12月の休日当番医

日	休日急患当番医	歯科休日当番医
2日	米谷病院(東和町) ☎0220(42)2007	登米中田佐藤歯科クリニック(中田町) ☎0220(34)4888
9日	小出医院(登米町) ☎0220(52)2303	さとう歯科医院(迫町) ☎0220(22)8133
16日	上杉皮膚科医院(迫町) ☎0220(21)1380	津山歯科診療所(津山町) ☎0225(68)3244
23日(祝)	わたなべ内科クリニック(迫町) ☎0220(21)5335	登米歯科診療所(登米町) ☎0220(52)3420
24日(振替)	佐幸医院(迫町) ☎0220(22)7003	おおさか歯科医院(中田町) ☎0220(34)6668
29日		プレミア歯科(南方町) ☎0220(23)2038
30日	しのはらクリニック(米山町) ☎0220(23)7387	グリーンヒルズデンタルクリニック(中田町) ☎0220(44)4611
31日	佐藤医院(南方町) ☎0220(58)2058	登米中田佐藤歯科クリニック(中田町) ☎0220(34)4888
	三浦消化器内科(中田町) ☎0220(34)3611	

●診療時間 9:00~17:00
【休日急患当番医】
●休日・夜間診療案内 ☎0229(24)2267(24時間)
●第2次診療 登米市民病院 ☎0220(22)5511
【問い合わせ】登米市医師会 ☎0220(22)2084
※月~金曜日(休日を除く)
【歯科休日当番医】
【問い合わせ】市民生活部健康推進課 ☎0220(58)2116
※当番医は、変更する場合があります。各医療機関に確認の上、受診ください。

登米市の公共施設

④施設の長寿命化・多機能化・複合化

~市民の皆さんと未来の公共施設を一緒に考えるため、公共施設の再編についてシリーズで紹介しています~

●施設の長寿命化

長寿命化とは、施設をできる限り長く、良好な状態で使い続けるため、計画的に修繕することです。施設の長寿命化は、不具合が起きてから対処する事後修繕だけではなく、不具合が起きる前に対処する予防保全に積極的に取り組むことが必要です。

市では、各施設の修繕履歴など「公共施設等修繕計画」を作成し、計画的で効果的な修繕に向けて取り組んでいます。今後は、公共施設を長寿命化させ、建て替えや大規模修繕の時期を分散させて財政負担を軽減します。

●施設の多機能・複合化

公共施設の床面積を削減する取り組みの一つとし

て、合併後に庁舎機能を公民館に統合した豊里公民館・豊里総合支所があります。これは「複合化」という手法で、従来の「一つの施設に一つの機能」ではなく「一つの施設に複数の機能」を持たせています。複合化により、ロビーやトイレなどを共有することで、公共施設の維持管理に必要な費用を削減することができます。さらに、公民館を利用する子供たちや高齢者と、総合支所を利用する人たちの交流が生まれ、新たなにぎわいの創出や地域力の向上にもつながります。

人口減少や高齢化などによる厳しい財政状況の中では「今ある施設を維持する」だけではなく「今ある機能が本当に必要なものか」も見極め、効率よく再編していくことが大切になってきます。



建物劣化診断の様子



複合化した豊里公民館・総合支所

【問い合わせ】
総務部総務課(財産係)
☎0220(22)2091
※次号は官民連携について掲載します

中学校新人総合体育大会
(陸上競技)10月10日
築館総合運動公園陸上競技場
【100m 1年男子】①佐々木清翔(津山)12秒11 ②千葉雄翔(南方) ③大澤落(中田)
【100m 2年男子】①上野大和(佐沼)12秒28 ②高橋樹生(佐沼) ③伊藤貴晴(新田)
【200m 男子】①上野大和(佐沼)25秒22 ②高橋樹生(佐沼) ③千葉雄翔(南方)
【400m 男子】①伊藤貴晴(新田)56秒87 ②大畑城真(佐沼) ③鎌田颯(南方)
【800m 男子】①遠藤武琉(南方)2分21秒96 ②大場大悟(佐沼) ③岡崎聖(米山)
【1500m 男子】①伊勢通斗(佐沼)4分34秒99 ②佐藤涼太(新田) ③千葉岳斗(中田)
【3000m 男子】①伊勢通斗(佐沼)10分12秒38 ②伊藤奏斗(中田) ③佐藤涼太(新田)
【100m ハードル男子】①川熊海斗(南方)18秒14 ②高橋陸(登米) ③青田理仁(米山)
【400m ハードル男子】①南方藤原・千葉・高橋・川熊)48秒03 ②佐沼(大畑・佐藤・上野・高橋) ③米山(主藤・加藤・門脇・鈴木)
【走り高跳び男子】①伊藤圭汰(新田)1.80 ②加藤丈一郎(米山) ③阿部海星(東和) ④佐々木仁(東和)
【棒高跳び男子】①門脇晴也(米山)2.90 ②浅野廉(南方)
【走り幅跳び男子】①石川千紘(中田)5.82 ②佐藤尚久(佐沼) ③金澤陽翔(豊里)
【砲丸投げ男子】①相澤洗人(南方)8.87 ②千葉温太(中田) ③伊藤俊

【補(新田) 四種競技男子】①川熊海斗(南方)1分50秒6 ②佐藤尚久(佐沼) ③千葉雄斗(中田)
【100m 1年女子】①千葉咲依(佐沼)13秒79 ②浅野結菜(中田) ③岩淵ゆいな(豊里)
【100m 2年女子】①加藤つばさ(佐沼)14秒10 ②星実李(南方) ③浅野菜々(豊里)
【200m 女子】①小林京胡(佐沼)29秒77 ②及川萌(中田) ③西條珠奏(津山)
【800m 女子】①大田菜央(佐沼)2分38秒30 ②主藤桜季(登米) ③佐藤心(登米)
【1500m 女子】①大田菜央(佐沼)5分32秒33 ②佐藤こな(石越) ③佐々木美桜(登米)
【100m ハードル女子】①浅野結菜(中田)17秒10 ②加藤つばさ(佐沼) ③千葉咲依(佐沼)
【400m ハードル女子】①佐沼(石川・千葉・小林・加藤)54秒06 ②中田(熊谷・及川・佐藤・浅野) ③米山(加藤・木村・千葉・島瀬)
【走り高跳び女子】①佐々木直実(南方)1.43 ②永埜結理(佐沼) ③西城咲希(津山)
【走り幅跳び女子】①佐藤花音(南方)4.49 ②及川萌(中田) ③今野愛里(津山)
【砲丸投げ女子】①佐藤日向(登米)8.81 ②熊谷風紗(中田) ③菅原有彩(登米)
【三種競技女子】①永埜結理(佐沼)1分33秒4 ②西條静紅(米山) ③高山瑞希(中田)
【男女総合】①佐沼②米山③中田
【男子総合】①佐沼②南方③米山
【女子総合】①佐沼②中田③登米





パークゴルフは世代を超えて

「パークゴルフ教室」(登米市豊里地区パークゴルフ協会主催、及川英一^{ひでかず}会長)は11月2日、豊里水辺の公園で開かれ、豊里小・中学校の8年生72人がパークゴルフを体験しました。

この行事は、子どもたちがパークゴルフに親しんでもらえるようにと、今回初めて開催。生徒たちは、協会員からルールやマナーを学んだり、クラブの持ち方などを教えてもらったりしながら晴天の下、楽しくプレーしていました。

非常時の対応力を身に付ける

「平成30年度米山中学校総合防災訓練」は9月20日、米山中学校(大場正浩^{まさひろ}校長、生徒244人)で開かれ、同校の生徒と米岡小学校児童が災害時の対応を学びました。

訓練は、復興庁男女共同参画班、消防署、赤十字病院、自衛隊や登米市社会福祉協議会を指導員に、AED(自動体外式除細動器)の操作、サバイバル飯づくりや簡易トイレの設営などの訓練を体験。児童・生徒たちは、非常時に対応できる力を身に付けようと、真剣な表情で取り組んでいました。



防犯意識を高め安全なまちへ

「全国地域安全運動石越地区大会」(石越地区防犯協会主催、稲辺一勝^{かずかつ}会長)は10月13日、石越総合支所で開かれ、佐沼警察署員、防犯協会員、防犯指導隊員、一般市民など34人が参加しました。

大会では、佐沼警察署員から管内の犯罪情勢と、空き巣や車上ねらいなどに遭わないための講話がありました。参加者は、被害に遭わないための正しい知識を学び、防犯に対する意識を新たにしていました。

作る楽しさをみんなで一緒に

世代間交流事業「作って遊ぼう」(青少年のための登米市民会議南方支部主催、鈴木正俊^{まさとし}会長)は10月28日、南方農村環境改善センターで開かれ、子どもからお年寄りまで45人が参加し、世代を超えて交流を楽しみました。

会場では、松ぼっくり人形、ろうキャンドルづくり、バルーンアート体験、昔ながらの射的、水ヨーヨーなどで交流。どん菓子の実演などで大いに盛り上がり、遊びを通して、地域のつながりを強めました。



和気あいあい津山地区運動会

「第14回津山地区運動会」(津山地域振興会主催)は10月7日、津山運動広場で開かれ、約1300人が参加しました。

運動会は、地域住民の体育振興・健康意識の向上、地域活性化が目的。津山地区のジュニアリーダーがボランティアとして係を務めました。参加者は、玉入れ、綱引き、リレーと趣向を凝らした種目に一喜一憂。今年は石貝行政区が激戦を制し優勝しました。最後は、みんなで輪になって登米音頭を踊り、親睦を深めました。

9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします



交通事故事故ゼロ4500日達成

迫町森地区の「交通事故事故ゼロ4500日達成表彰式」は10月18日、森公民館多目的ホールで行われ、登米市交通安全対策協議会と佐沼警察署から森地区コミュニティ推進協議会(鈴木香^{かほ}会長)へ表彰状が贈られました。

森地区は、2006年6月から交通事故事故ゼロを継続し、10月16日で4500日を達成。鈴木会長は「地域の皆さんと協力しながら交通事故事故ゼロを継続していきたい」と決意を新たにしていました。

地元の文化作品が数多く出展

「第45回とよま文化祭」(登米文化協会、とよまコミュニティ運営協議会主催)は10月20、21の両日、登米公民館で開かれ、約300人が参加しました。

文化祭は、文化協会会員や小中高生の作品が多数展示されたほか、お茶席や飲食コーナーも出展され、はっと汁、あんこ餅やずんだ餅が販売されました。20日はチャリティバザー、21日は絵手紙作り体験がそれぞれ開かれ、多くの人たちが文化との触れ合いを楽しみました。



雨ニモマケズ東和の秋まつり

「東和の秋まつり」(同実行委員会主催、及川浩実^{ひろみ}実行委員長)が10月27日、東和総合支所特設会場で開かれました。

当日はあいにくの雨となり、東和総合支所内で開催。ステージでは、小中学校の合奏、文化協会の芸能発表や特別ゲスト「伊達の黒船太鼓(石巻市雄勝地区)」の和太鼓演奏などが披露され、大いに盛り上がりました。小中学校と文化協会の文化作品展示、東和中学校の起業学習販売コーナーなども催され、会場は約1800人の来場者でにぎわいました。

子どもの安全を地域で見守る

加賀野二行政区の「児童に対する不審者対応訓練」は10月29日、加賀野二区集会所と中田なかよし公園で開かれ、地域住民約40人が参加しました。

この訓練は、同地域で不審者情報があったことをきっかけに、子どもたちが安全に暮らせる地域づくりを目指して、行政区が佐沼警察署と協力し初めて開催。訓練では「子ども110番の家」への避難から、警察への通報、不審者確保までの流れを実践し、子どもたちの防犯意識を高めました。



10月24日までの3歳児健診でむし歯のなかった子どもたち



インフルエンザは予防から

インフルエンザは、例年12～3月頃に流行します。一度流行すると、短期間に多くの人へ感染が広がります。予防するには、一人一人の心掛けが大切です。

～インフルエンザ予防のポイント～

- ◎小まめに手を洗う
- ◎せきエチケットを心掛ける
- ◎十分な休養と栄養を取る
- ◎室内を適切な湿度(50～60%)に保つ
- ◎予防接種は流行前に済ませる

【問い合わせ】市民生活部健康推進課(健康推進係)
☎0220(58)2116



むし歯がなかった子は、市内9地区で50人中42人でした

村川 陸くん (南方町板倉)

一般向け

子ども向け

PICKUP_04 「葉室麟 洛中洛外をゆく。」



葉室麟／著
葉室麟が歴史小説の主人公に託した思いとは。小説の舞台となった京都を巡り、自著について語った作品です。美しい口絵と地図で分かりやすく解説しています。

PICKUP_05 「気がつきすぎて疲れる」が驚くほどなくなる 「織細さん」の本



武田 友紀／著
ささいなことが気になってしまう「織細さん」。織細さんが日々元気に過ごしていくためにはどうしたらよいか、専門カウンセラーが優しくアドバイスしています。

PICKUP_06 家族旅行で子どもの心と脳がぐんぐん育つ 「旅育BOOK」



村田 和子／著
「旅育」とは、旅を通じて子どもの生きる力を育む方法です。家族旅行で親子の絆を深めながら、旅を楽しみ、さまざまなことを学ぶための方法を紹介しています。

続々新刊が入荷。詳しくは市公式ホームページで

PICKUP_01 「デニムさん」



今関 信子／文
東日本大震災で、倉庫が津波に流された、気仙沼市の工場「オйкаワデニム」。決してくじげずに、立て直そうと頑張ります。困難を乗り越える強さを学べる一冊。

PICKUP_02 絵でわかる 「なぜなぜ会話ルールブック」



藤野 博、綿貫 愛子／著
何気ない普段の会話やコミュニケーション。「なぜ話すときは相手の目をみるのか」など、コミュニケーションの面白さ、不思議さについて楽しく紹介。

PICKUP_03 「ねこです。」



北村 裕花／作
あれ、猫かな。毛糸玉に見えたり、モップに見えたり、おはぎに見えたり、本当に猫かどうかページをめくって確かめたい。親子で楽しめる一冊です。

Library Topics

みんなの図書館

利用者の声や図書館のイベントなどをお知らせします

どんなおはなし聞けるかな 「クリスマスおはなし会」

図書館ボランティアだっこ・ラッコによるクリスマスおはなし会を開催します。クリスマスにちなんだ絵本の読み聞かせやパネルシアターなど、ワクワクするような内容が盛りだくさん。お子さまとぜひ遊びに来てください。

【開催日時】
12月15日(土)
午前10時30分～
【場所】
迫図書館(2階研修室)
【入場料】
無料



ーおはなし会の開催日をお知らせしますー

開催日(開催時間は午前10時30分～)
★11月28日(※)
12月1日(土)、12月15日(土)(クリスマスおはなし会)
1月19日(土)、★1月23日(※)
2月2日(土)、2月16日(土)、★2月27日(※)
3月2日(土)、★3月27日(※)
★マークは「0歳から3歳のおはなし会」です。

■開館時間 午前9時～午後5時
■休館日 毎週月曜、祝日、年末年始など(中田図書館は祝日も開室)
※その他、館内整理など不定期での休館もありますので問い合わせください
■問い合わせ 迫図書館 ☎0220(22)9820
登米図書館 ☎0220(52)5330
中田図書館 ☎0220(34)8081

This Month Pick Up Hot Communication

☑ Books

☑ Health

☑ Young

☑ Dream

☑ Child

☑ Half Century

☑ One's Home



Dream

ぼくとわたしの夢

Monthly Hot Communication

高橋 佑奈さん

たかはし・ゆうな 南方中1年
南方町・北大畑

思いやりの心を持って

私には、養護教諭になりたい夢があります。理由は、小学生の時の養護の先生が、時間を掛けて話を聞いてくれる、とても優しい憧れの先生だったからです。

私は、養護教諭になるためには「コミュニケーション力」が大切だと思っています。保健室は、具合が悪くなった子どもやけがをした子どもが来る場所です。保健室に来た子どもたちが、先生から明るく話し掛けられたら笑顔になれると思います。

立派な先生になるために、今私にできることは「思いやりの心」を持つことだと思います。

中学に入学して半年がたちました。環境に慣れてきた時期に、人の悪口を言ったり、友達との関係が崩れたりしてしまうことがあると思います。そんな時に困っている友達がいたら、優しい一言を掛けたいです。

養護教諭という夢に向かって、一步一步努力して進んでいきます。

Child

わが家のアイドル

Monthly Hot Communication



市川 来琉くん(3歳)

2015年7月21日生まれ
迫町・江合 カ斗さんの長男
いつも元気いっぱい。外で遊ぶのが大好きで、とても優しいらいちゃん。これからは元気に育ってね。



佐藤 洗太朗くん(9カ月)

2018年1月26日生まれ
米山町・狐崎 秀晴さんの長男
生後100日の記念に、写真撮影をしました。生まれた時よりも体重が4kg増え、重くなってきました。



三浦 蒼也くん(3歳)

2015年4月17日生まれ
米山町・大又 厚さんの三男
お気に入りの「U. S. A」をいつも歌っています。おしゃべりが上手な、お兄ちゃん大好きっ子。元気におっきくな～れ。

Young

まちの若い衆

Monthly Hot Communication

佐藤 祐希さん(21)

さとう・ゆうき
東和町・錦織2区

★身長は 176㎝です。

★現在は 今年、栗原市にある東北職業能力開発大学校を卒業し、4月から石巻市にある東部下水道事務所で、電気技師として処理場施設の維持管理を担当しています。下水道管路のパトロールや監督員として現場に入っていますが、1年目なので学ぶことが多いですね。

★自分の性格 あまり深く物事を考えないですね(笑)。高校生の頃は、友人に勉強を教えることが多かったので、周りからは「面倒見がいいね」と言われたことがあります。

★趣味は アーチェリー、旅行、ゲームなどです。アーチェリーは、小学4年から高校まで続け、今は高校生に教えています。東和町で大会があるときは、運営を手伝うこともあります。旅行は、最近だと岩手県の雫石町に行きました。旅行先では、必ず散歩をします。街ごとに風景が異なり、人との出会いや変わった店などいろいろな発見があって楽しいです。

★休日は 趣味に没頭していることが多いですが、それ以外の時間はずっと猫を眺めています。かわいく癒されますね。気付いたら猫の写真が、スマートフォンに5千枚くらい入っていました(笑)。

★理想の女性像 味覚と趣味が合う人がいいですね。趣味が多いので、それを理解してくれる人が理想です。

★登米市について一言 車だとアクセスが良く、便利ですよ。若い人向けの娯楽施設が少ないので、ボウリング場などがあればいいと思います。



～「わが家のアイドル」を募集～

市内の3歳までの子どもたちを募集しています。家族の記念にいかがでしょうか。投稿お待ちしております。
＜応募方法＞①氏名(ふりがな)・性別②住所③行政区④生年月日⑤電話番号⑥掲載する保護者の氏名⑦コメント(50字以内)⑧写真データを添付し応募してください <応募先>総務部市長公室広報広聴係
〒987-0511 迫町佐沼字中江二丁目6番地1 Eメール:koho@city.tome.miyagi.jp 電子申請:
<https://www.shinsei.elg-front.jp/miyagi/uketsuke/dform.do?acs=212ldolMyHome>

電子申請 QR コード





鈴木 健男さん(80)
昌子さん(77)
南方町・一の曲
1962(昭和37)年3月入籍

能天気だからけんかしないね

★お互いの第一印象は
【健男】いいなと思った。特に顔が笑)。
【昌子】優しい人だと思っ
たね。
★結婚当時の思い出は
【健男】二人で台湾に行ったこ
どが一番の思い出だね。山が
すごくって、こんなところに人
が住んでんのかってびっくり
した。結婚してからずっと忙
しかったけど、旅行に行けて
いい思い出になったね。
【昌子】農家だから働いてばっ
かだったね。手仕事だったか
ら、うんと大変だった。
★お互いの性格は
【健男】はつきりしてる。あと
【健男】二人で台湾に行ったこ
どが一番の思い出だね。山が
すごくって、こんなところに人
が住んでんのかってびっくり
した。結婚してからずっと忙
しかったけど、旅行に行けて
いい思い出になったね。
【昌子】農家だから働いてばっ
かだったね。手仕事だったか
ら、うんと大変だった。
★お互いの性格は
【健男】はつきりしてる。あと
【健男】二人で台湾に行ったこ
どが一番の思い出だね。山が
すごくって、こんなところに人
が住んでんのかってびっくり
した。結婚してからずっと忙
しかったけど、旅行に行けて
いい思い出になったね。
【昌子】農家だから働いてばっ
かだったね。手仕事だったか
ら、うんと大変だった。
★お互いの性格は
【健男】はつきりしてる。あと

One's Home

ふるさとへの思い

「南方町人会の歩み」

早いもので東京生活も60年
になりました。
私の母校は、旧登米郡南方
村西郷小学校です。在校中は
授業の一貫として「蝗採り」
「落穂拾い」が思い出されま
す。
1958(昭和33)年3月に
南方中学校を卒業し、上京。仙
北鉄道で西郷駅から乗車し、
瀬峰駅で東北本線の夜行列車
に乗り換え、早朝に上野駅に
着いたのを覚えています。
年齢のせいも、この頃南方
町に帰省することも少なく
なりましたが、ツイッターや
フェイスブックなどで登米市
の情報を楽しく見えています。
動画投稿サイト「ユーチュー
ブ」では「登米無双」を第1弾
から第3弾まで楽しく拝見し

小野寺 正彦さん(76)

関東地区
宮城県南方町人会事務局長
南方町(柳沢)出身



ました。
南方町人会は、59(昭和34)
年に東京都大田区にあった北
辰電機の取締役千葉秋雄氏
(南方町尼池出身)が、当時、南
方中学校を卒業して東京など
の関東方面に就職した子ども
たちのために、集いの場とし
て発足させました。
同年、大田区民会館にて第
1回南方町人会の設立総会を
開催。64(昭和39)年には町制
施行で、当会も「南方町人会」
から「関東地区宮城県南方町
人会」に名称が変更になり現
在に至っています。節目の年
には周年行事を開き、91(平
成3)年に開催した際は、約
300人と多くの出席をいた
だきました。しかし、現在は関
東方面に就職する人が減った
せいも、出席者も少なくなっ
てきました。関東方面に就職
した人、同窓会を開催してい
る人などで、新しく参加して
もらえる人との交流を積極的
にしていきたいと考えていま
す。
本年度、南方町人会は、上野
公園グリーンパークで会員と
来賓の約90人で開催しました。
また、来年度は60周年の記
念の会になります。ふるさと
の皆さん、これからもご支援
をお願いします。

おらほの道の駅

道の駅津山
「もくもくランド」



「あぶら麩、つと納豆、切り餅や新鮮な野菜が入ったお正月パッ
クが人気です。お歳暮にもどうぞ」と紹介してくれたスタッフ
の皆さん



積み木は見た目もかわいくて人気

今月は、道の駅津山「もくも
くランド」の佐藤賀津雄駅長
にお話を伺いました。
Q お勧め商品などを教えてく
ださい
今の時期は、名産のスギを
使った「積み木」がクリスマス
プレゼントに人気です。子ど
もの頃から木に触れ、自然の

大切さを知る「木育」が注目さ
れており、市内外の保育施設
などからもたくさん注目の注
文がある商品です。
食べ物では、道の駅施設
内の「木里口」で食べられる
「はっと鍋」が人気。はっとだ
けではなく、あぶら麩もたく
さん入った出来立ての鍋は、
寒さが厳しい冬でも体がぼか
ぼかに温まります。
Q これから開催されるイベン
トなどを教えてください
12月9日(日)から平成31
年1月6日(日)までの期間
は、敷地内を華やかなイルミ
ネーションが彩ります。イル



津山の冬を華やかに彩ります

ミネーションは、20年近く毎
年欠かさず続けており、駐車
場から直売所に通じる橋や直
売所のデッキなどを、約8千
個の電球でライトアップしま
すので、ぜひお越しください。
【問い合わせ】道の駅津山「も
くもくランド」
☎0225(69)2341

短歌
まちの文芸

作品募集!
●1月号は俳句・川柳です。住所・氏名・電
話番号を記入し、11月30日(金)までご応募
ください。作品・氏名には全てふりがなを
振ってください。
●応募者多数の場合選考して掲載します。

折鶴は平和の標追悼の
献花と共に祭壇に奉る
天空高くくの字への字や北の使者
穫り入れ忙し晩秋の里
大木のいいぎりの枝折れるほど
鈴生り見上ぐ震災越えて
蕪播き時雨続きで前畑に
緑り葉太く間引き待つ声
米寿越え「家の光」の脳トレを
惚け防止にと毎日いどむ

二ノ神武志 (迫)
丸山 米子 (東和)
熊谷タヘ子 (中田)
千葉 源治 (中田)
本宮やつの (中田)

九十五歳の義母の日課に合わせつつ
一日終えたり我も行く道
増上寺に詣で記念のうつつしえに
東京タワー凜と映れり
朝靄に刈り入れ終えし田園の
落ち穂ついばむ白鳥の群れ
台風で老も若きも天国へ
望み叶えず師走となりし
葉の落ちた柿の木夕陽が赤く染め
烏が数羽啄んでたり

佐々木康子 (米山)
千葉たかこ (米山)
齋藤フキ子 (石越)
佐藤よしの (石越)
加藤 了子 (南方)

情報場 Information

募集

有機センターの 指定管理者を募集

公の施設を管理運営する指定管理者(団体)を募集しています。個人は応募できません。

【募集・申請期限】12月7日(金)午後5時

【募集要項・申請書】指定管理者を募集する施設の担当部署で配布します。募集・申請に関する詳細は、担当部署まで問い合わせください

【指定期間】平成31年4月1日から5年間(予定)

【選定方法】公の施設指定管理者選定委員会が書類、ヒアリング審査により、管理運営に最も適した団体を候補者に選定します。その後、市議会での承認を受け、指定管理者を決

定します

指定管理者を募集する施設

公の施設の名称	問い合わせ先 (担当部署)
<ul style="list-style-type: none"> ■ 迫有機センター ■ とよま有機センター ■ 中田有機センター ■ 豊里有機肥料センター ■ 石越有機センター ■ 南方有機センター (本センター、サブセンター) 	産業経済部 農産園芸畜産課 ☎ 0220(34)2713

**夜間納税相談窓口
(11月・12月分)**

【日時】11月29日(木)
12月20日(木)
いずれも午後8時まで

【場所】総務部収納対策課
(迫庁舎1階)

【問い合わせ】
総務部収納対策課(徴収対策係)
☎ 0220(22)2169

税務申告相談の任期付職員を募集

【職種・採用人員】税務申告相談6人程度

【任期】平成31年1月4日～3

【任用方法】任用者は、登録された人の中から必要に応じて選考し決定します

【申し込み・問い合わせ】総務部人事課(人事研修係)
〒987-0511 登米市迫町佐沼字中江2-6-1
☎ 0220(22)2145

※流通品のため、一斉には販売できません

● 広告掲載イメージ

家庭で使用する、燃やせるごみ指定袋(大)に掲載する広告主を募集します。

【対象者】市内に事業所、店舗などを置く法人、個人

【掲載期間】平成31年6月から32年3月までの販売分(予定)

● 広告内容

掲載枚数	約150万枚(販売枚数により変動あり)
掲載サイズ	1 枠の大きさ 縦 70 ミリ × 横 250 ミリ 1 色刷り(赤色)
掲載枠数	2 枠
掲載料	1 枠 15 万円

● 広告掲載イメージ

【応募期間】12月3日(月)から

【開催場所】南方住民情報センター(南方庁舎2階)

【対象・定員】市民または市内に勤務している人(各講座18

基本操作が学べる
るるるのパソコン講習会

【申し込み・問い合わせ】環境事業所クリーンセンター
☎ 0225(76)0102

※募集内容や応募書類、提出方法などの詳細は市公式ホームページをご覧ください

【試験日程】▼1次試験Ⅱ書類審査▼2次試験Ⅱ面接試験(12月中旬予定)

※2次試験は1次試験合格者だけが対象です

【申し込み・問い合わせ】総務部人事課(人事研修係)
〒987-0511 登米市迫町佐沼字中江2-6-1

【登録申請書請求方法】総務部人事課、医療局総務課、各総合支所窓口(備え付けてあります)(市公式ホームページからもダウンロード可)

【受付期間】平成31年4月から任用を希望する場合は、12月3日(月)から12月28日(金)までに登録してください(郵送の場合は必着)

市は、31年度の非常勤職員、臨時職員、パート職員の登録者を募集します。

※過去の登録者も再度登録が必要になります

【職種】保育士、児童館・子育て支援指導員、幼稚園講師、教員補助員、看護師、准看護師、介護福祉士、看護助手、運転業務員、事務補助員など

【登録方法】登録申請書に必要事項を記入し、総務部人事課まで持参、または郵送してください。また、市公式ホームページからインターネット(電子申請)でも登録できます

※保育士や看護師など、資格が必要な職種を登録する場合は、その資格証の写しを添付してください

【受験資格】学校教育法による高等学校卒業者および同等以上の経歴を持つと認められる人。かつ公務員などで通算3年以上、税務申告相談などの業務経験がある人

【受験申込】申込書、職務経歴書および試験実施要綱は、平日午前8時30分から午後5時15分まで総務部人事課で配布しています。市公式ホームページからもダウンロード可能です。郵便で請求する場合は、封筒の表に「登米市任期付職員採用試験申込書請求」と朱書きし、宛先を明記した120円切手が貼ってある返信用封筒(A4版が入る大きさ)を必ず同封してください

【受付期間】11月30日(金)

※申込受付は、平日午前8時30分から午後5時15分までとし、郵送の場合は11月30日(金)まで必着のものに限りま

住宅入居者を募集

募集する住宅

市営住宅	米山清水第一住宅1-34号(昭和58年) (米山町中津山字清水32番地2) ▶ 募集戸数=1戸(3DK)/家賃月額=1万5700円 ~2万3400円/駐車場利用は1台まで
	豊里下町第2住宅9号(平成17年) (豊里町下屋浦301番地6) ▶ 募集戸数=1戸(3DK)/家賃月額=2万3400円 ~3万4800円/駐車場利用は1台まで
	南方高石住宅B5号(平成14年) (南方町山成前855番地1) ▶ 募集戸数=1戸(3LDK)/家賃月額=2万1700円 ~3万2400円/駐車場契約なし
	津山横山本町住宅B-1号(平成13年) (津山町横山字本町121番地31) ▶ 募集戸数=1戸(3LDK)/家賃月額=2万700円 ~3万800円/駐車場利用は1台まで
	津山柳津四丁目住宅3号(平成16年) (津山町柳津字本町67番地) ▶ 募集戸数=1戸(3LDK)/家賃月額=2万3600円 ~3万5100円/駐車場利用は1台まで
特定公共賃貸住宅	豊里新町特定公共賃貸住宅3号(平成8年) (豊里町新町5番地1) ▶ 募集戸数=1戸(3LDK)/家賃月額=4万6000円 ~5万5000円/駐車場契約なし

【入居資格】住宅に困っている世帯

※市営住宅は低所得世帯であること、特定公共賃貸住宅は所得が一定基準額の範囲内であることなどの入居要件があります。詳しくは住宅都市整備課へお問い合わせください

※駐車場利用は、別途1台2千円かかります

【申込期限】12月4日(火) ※期限厳守・郵送不可

【申し込み】各総合支所市民課または建設部住宅都市整備課

【問い合わせ】建設部住宅都市整備課(住宅整備係)
☎ 0220(34)2316

【時間】午後1時30分～3時30分

【受付開始】11月22日(木)

【参加費用】参加者の受講テキスト代などで千円程度(講座により若干変わります)

【申し込み・問い合わせ】南方住民情報センター「るるる」

※開館日は火・日曜日、祝日の午前9時～午後5時

☎ 0220(58)5557

パソコン講習会(後期日程)

講座名	内容	日程(4日間で1講座)
パソコン入門 インターネット	パソコンの基本操作、インターネットの基礎知識、セキュリティなど	12月5日(水)、6日(木)、12日(水)、13日(木)
文書作成 (ワード)	ワードを使った文書作成、表作成など	1月16日(水)、17日(木)、23日(水)、24日(木)
表計算 (エクセル)	エクセルを使った表作成、数式と関数、グラフ作成など	2月6日(水)、7日(木)、13日(水)、14日(木)

【使用パソコン】情報センターのパソコンまたは所有のパソコン

DAIYU HOME CENTER
ダイユーエイト 登米中田店

毎月8のつく日
8日 18日 28日 + 毎週土曜日

税込3,240円以上お買上げで
ポイント5倍

お正月飾り各種
大量入荷しました!!

ダイユーエイト 登米中田店案内図 広告

宮城県登米市中田町石森字駒ヶ原400
TEL 0220-23-9433

営業時間 あさ8時～よる8時まで

ウジエスーパーさん
マツモトキヨシさん
薬王堂さん
JAみやぎさん
中田総合体育館
登米市立登米小学校

確かな技術でまかせて安心 広告

電気工事・オール電化工事・電気通信工事
太陽光発電設備工事・IH、エコキュート・消防設備工事・点検

有限会社 五島電機

登米市中田町宝江新井田字荒谷60-1
TEL.0220-34-3349 FAX.34-5792

エネルギーに夢をのせて 広告

KUMANEN 熊谷燃料住設株式会社

災害時安定供給施設

- アクアショップ KUMANEN
- BFC クマネン
- コインランドリー 清潔空間
- なごみの家さらり
- 【関連企業】
- 網ネオウイング

〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字北畠田 120 番 1
TEL.0220-22-2415(代) FAX.0220-22-6732
http://www.kumanen.jp E-mail:info@kumanen.jp

登米祝祭劇場 12月のイベント情報

開催日	内容	問い合わせ
1㊥	●トルティージャ ギター教室発表会 (ミニコンサート付) 【開演】午後2時 【会場】小ホール 【入場料】500円	同教室 ☎ 0220(29)6618
2㊥	●第24回登米市合唱祭 【開演】午後1時30分 【会場】大ホール 【入場料】無料	登米市合唱連盟 ☎ 0220(34)6649
6㊥	●舞台技術講座～上級編～ 【開講】午後1時 【会場】小ホール 【参加費】1000円/高校生無料(要申し込み)	登米祝祭劇場 ☎ 0220(22)0111
8㊥	●名作子ども映画会 アニメーション映画「盲導犬サーブ」 【開演】午前10時10分 【会場】大ホール 【入場料】500円	守屋教育映画 ☎ 0282(23)7156
9㊥	●第52回アンサンブルコンテスト 宮城県大会登米地区大会 【開演】午前10時 【会場】大ホール 【入場料】無料	登米総合産業高校 ☎ 0220(34)4666

※12月の休館日は、3日、10日、17日、24日、29日～1月3日です
※入場料は前売り価格です

一登米祝祭劇場からのお知らせ一

舞台音響設備の改修工事のため、12月10日(月)から平成31年3月31日(日)まで、大・小ホールの利用はできません。なお、練習室と和室は利用可能です。
ご迷惑をお掛けしますが、ご理解・ご協力をお願いします。

冬は、家庭や職場などで油類を取り扱う機会が増えます。近年、ホームタンクや農作業機械などから油類が漏れ、河川に流れ出す事故が発生しています。
流れた油類は、河川を汚染するほか、火災の原因となり、生命や財産が失われる危険性もあります。また、油類の回収や処理費用は、流出者の負担になるため、油類の取り扱いには十分注意してください。
なお、油類が流出した場合は、速やかに市役所または消防署に連絡してください。
【問い合わせ】市民生活環境課(生活環境係)
☎ 0220(58)5553

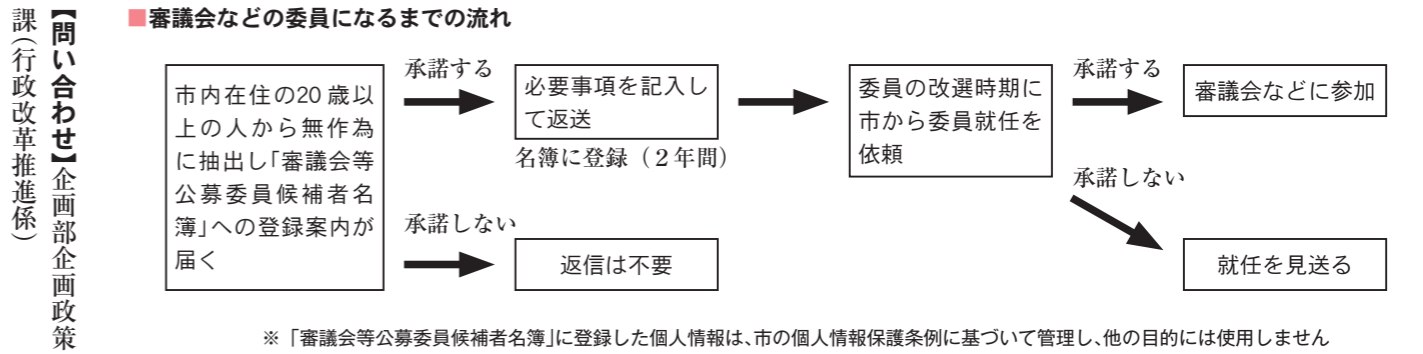
【応募期限】平成31年1月11日(金)
【問い合わせ】迫公民館 ☎ 0220(22)7324
【楽しく基礎から学ぶ】
【手話教室受講生を募集します】
手話教室の受講生を募集します。
【日時】①11月26日(月)②11月30日(金)③12月3日(月)④12月7日(金)⑤12月10日(月)午前9時30分～11時30分
【場所】市役所南方庁舎(2階)

【対象者】市内に在住または勤務し、障がい福祉や手話に関心がある人
【講師】市手話通訳相談員・ゲスト講師(聴覚障がい者)
【内容】聴覚障がい者や手話についての理解、あいさつ、自己紹介、簡単な会話
【募集人員】20人程度(定員になり次第締め切り)
【受講料】無料
【申込方法】電話、ファクシミリ(住所、氏名、電話番号、手話教室受講希望と明記の上、送

【申し込み問い合わせ】福祉事務所生活福祉課(障害福祉係)
☎ 0220(58)5552
☎ 0220(58)2375
【お知らせ】
平成31年版
みやぎ手帳を販売
【内容】月間予定表、日記、最新の統計資料、仕事・生活に役立つ

【価格】500円(税込)
【販売方法】各総合支所市民課で販売。取扱時間は午前8時30分～午後5時15分(土、日、祝日を除く)
【販売期間】12月28日(金)まで
※在庫がなくなり次第販売終了
【問い合わせ】企画部企画政策課(企画政策係)
☎ 0220(22)2147

審議会などの委員候補者の名簿登録者を募集
市は、より多くの市民の意見を市政に反映させ、皆さんのニーズに即した市政運営をするため、無作為抽出方式で審議会などの委員を募集します。
募集方法は、無作為に抽出した市内在住の20歳以上のの人に、審議会等公募委員候補者名簿登録の案内を送付しますので、承諾する場合は、必要事項を記入し、書類を返送してください。
審議会などで委員改選や欠員が生じ、公募しても応募がない場合、承諾した人の中から、委員就任の依頼をします。
なお、名簿に登録されても必ず委員に就任するわけではなく、会議内容などの説明を聞いた上で、就任するかどうかを決めることができます。
また、委員には専門的な知識や経験は必要ありませんので、委員に就任された際には、市民の視点から率直な意見を願います。
市民の皆さんと協働のまちづくりを推進しているため、案内が届いた人は、名簿への登録にご協力をお願いします。



ねんきんだより
公的年金などの源泉徴収票を交付
老齢年金は、所得税法上で「雑所得」として課税対象になっています。
65歳未満で、その年の受給額が108万円以上、65歳以上で158万円以上の人は、原則として所得税が課税されます。この金額より少ない場合は所得税の源泉徴収はされませんが、他の公的年金や年金以外の所得がある場合は課税されることがあります。
老齢年金受給者には、1月中に前年分の「源泉徴収票」が送付されます。確定申告などの際に必要ですので、大切に保管してください。
なお、障害年金や遺族年金は課税の対象とならないため、源泉徴収票は送付されません。万が一、源泉徴収票を紛失した場合や届かない場合には、ねんきんダイヤルで再交付の受け付けをしています。
【ねんきんダイヤル】
☎ 0570(05)1165
※問い合わせの際は、基礎年金番号が分かるものをご用意ください。
【問い合わせ】
▼古川年金事務所
☎ 0229(23)1200
▼市民生活部国保年金課(年金医療係)
☎ 0220(58)2166

【場所】岩手県夏油高原スキー場
【内容】①初心者コース②初級者コース③中級者コース④上級者コース 【参加資格】20歳以上の男女
【募集人数】40人
【参加費】3千円(リフト代、交通費など)
※昼食、レンタル代などは自己負担
【日時】平成31年1月20日(日)午前7時～午後6時30分

人と環境への新しい優しさを目指して お気軽にご相談下さい

株式会社 清建 環境プロバイダ
本社/〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字南駒木袋212-3
TEL.0220-22-7085 FAX.0220-22-7658

有限会社 **清建物流**
TEL.0220-22-9430 FAX.0220-21-1535
本社/〒987-0512 宮城県登米市迫町森字平柳14-1

有限会社 **リースキン宮城**
TEL.0220-22-3431 FAX.0220-22-3495
〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字下田中53番地8

山台(営)/〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央3丁目18-1 泉ネットワーク・ビル2階 広告
TEL.022-797-5930 FAX.022-797-6980
南三陸(営)/〒986-0782 宮城県本吉郡南三陸町入谷字大船沢313
TEL.0226-46-1027 FAX.0226-46-2122
URL www.kkseiken.co.jp E-mail info@kkseiken.co.jp

厚生労働大臣許可 指定居宅サービス事業所
有限会社 **はさま看護婦・家政婦紹介所**
すずらん託児室・保育園
TEL.0220-22-8064 FAX.0220-23-2728
〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字中江2丁目21(中江ビル)
【すずらん託児室】TEL.0220-22-7755

株式会社 **刺蒸くまがい** ...働く会社... 法事・宴会 広告
中田中学校通り **0220-34-5002**

株式会社 **誠香社**
葬儀からご法要までの一環システム
登米市内ホールは5ヶ所ございます。(お選びいただけます)
24時間受付 0220-34-4856(代表)

12月の納税

市県民税・・・4期
国民健康保険税・・・7期
介護保険料・・・7期
後期高齢者保険料・・・6期

忘れずに納めましょう
納税は便利な口座振替で

納期限/12月28日(金)

登米市の人口・世帯数

(平成30年10月末現在)

地区	世帯数	人口(人)		
		男	女	計(前月比)
迫	7,615	10,019	10,588	20,607 (22)
登米	1,808	2,322	2,521	4,843 (▲14)
東和	2,362	3,126	3,268	6,394 (6)
中田	5,114	7,654	8,016	15,670 (20)
豊里	2,138	3,269	3,335	6,604 (▲7)
米山	2,814	4,464	4,625	9,089 (▲21)
石越	1,583	2,428	2,450	4,878 (▲13)
南方	2,698	4,235	4,406	8,641 (▲15)
津山	1,158	1,568	1,710	3,278 (▲5)
合計	27,290	39,085	40,919	80,004 (▲27)

※上記人口・世帯数には外国人住民も含まれています

市内の交通事故発生状況

(平成30年10月末現在) ※佐沼・登米警察署調べ

	H30	H29	増減数
人身事故発生件数	150件	160件	▲10件
死者数	4人	2人	2人
負傷者数	193人	207人	▲14人
物損事故発生件数	1,272件	1,270件	2件

※平成30年1月からの延べ件数(前年同期と比較)

警察署からのお知らせ

冬道の走行は、積雪、凍結などによる滑走事故が多発します。「冬道の安全運転1・2・3運動(1割のスピードダウン、2倍の車間距離、3分早めの出発)」を実践し交通事故防止に努めましょう。

市内放射線の測定結果

測定日:平成30年11月1日 単位:マイクロシーベルト

測定地点	測定結果	天気
消防署	0.06	晴れ
消防署北出張所(石越)	0.04	晴れ
消防署東出張所(東和)	0.04	晴れ
消防署津山出張所	0.05	晴れ
消防署南出張所(豊里)	0.04	晴れ
消防署西出張所(南方)	0.04	晴れ

空間放射線量の測定結果は市公式ホームページに掲載およびメール配信しています。

子どもについての悩み

「ご相談ください」

学業、不登校、いじめなど、子どものいろいろな悩みを抱えていませんか。経験豊かな専門のカウンセラーが、教育相談に応じています。

相談は無料で、秘密は厳守しますので安心してご相談ください。相談専用電話も用意しています。

【相談場所】視聴覚センター

相談

▼産業経済部産業連携推進課(産業連携係)
☎0220(34)2549

カウンセラーによる教育相談日

相談日	相談時間	
12月	6日(⊕)	①10:00~10:50
	13日(⊕)	②11:00~11:50
	20日(⊕)	③13:00~13:50
1月	10日(⊕)	④14:00~14:50
	17日(⊕)	⑤15:00~15:50
	24日(⊕)	⑥16:00~16:50
	31日(⊕)	

(2階教育相談室)
※来所の際は、直接2階の教育相談室に入室ください
【予約時間】月～金曜日(祝日を除く)午前8時30分～午後5時

一人でも抱え込まないで
多重債務者無料法律相談

【日時】12月21日(金)午後1時15分～4時15分
【場所】迫にぎわいセンター
【担当】開発健次(弁護士)
【相談専用電話】☎0220(34)2308
【相談料】無料(要電話予約)
【問い合わせ】産業経済部商業観光課(商業振興係) ☎0220(34)2734

談とも要電話予約
【相談専用電話】☎0220(22)8125
【予約・問い合わせ】市教育研究所 ☎0220(22)8029

市民活動の疑問や運営の課題について、相談に応じます。
※先着3団体。要予約
【日時】12月20日(木)①午後3時②午後4時③午後5時
【講師】大久保朝江氏(杜の伝言板ゆるる代表)
【場所】コンパスとめ(迫町佐沼字下田中60-1)
【参加費】無料
【申込締切】12月10日(月)
【申し込み・問い合わせ】とめ市民活動フォーラム・さくらんぼくらぶ(担当)熊谷 ☎0220(23)0266
☎0220(23)8442
✉info@tome-forum.jp

市民活動の疑問など
個別に相談に応じます

—12月4～10日は人権週間です—
人権週間の記念行事として、特設人権相談所を開設します。相談は無料で、秘密は守られます。
【日時】12月7日(金)午前10時～午後3時
【会場】豊里公民館、迫公民館、石越総合支所
【相談・問い合わせ】
仙台法務局登米支局(総務係) ☎0220(52)2070
みんなの人権110番 ☎0570(003)110

■競争入札参加資格審査定時申請の受け付け
市が発注する工事や業務などの競争入札参加を希望する場合は、資格審査を受け、競争入札参加資格者名簿への登録が必要になります。要領などを確認の上、申請してください。

【登録区分】「建設工事」「建設関連業務」「物品の製造・販売など」「役務の提供など」
【登録資格】市公式ホームページに掲載の申請要領を確認してください
【提出書類】入札参加資格申請書一式
※詳細は、業種ごとの提出書類一覧をご覧ください
■小規模工事等契約希望者登録定時申請の受け付け
市内業者で競争入札参加資格申請をせず、小規模な建設工事や修繕などの受注を希望する場合は、要領などを確認の上、申請してください。

【対象工事など】内容が軽易で履行の確保が容易なもの、かつ1件当たりの工事は130万円、修繕は50万円以下のもの

【登録資格】▼市内業者(市内)

に事業所または住所がある者)▼競争入札参加資格登録をしない者▼希望業種を履行するために必要な資格・免許を有している者▼市税を滞納していない者
【提出書類】小規模工事等契約希望者登録申請書および関係書類
■共通事項
【受付期間】12月3日(月)～平成31年1月31日(木)午前9時～11時30分、午後1時～4時(閉庁日を除く)
【受付場所】総務部総務課契約係(迫庁舎2階)
【申請要領など】申請要領と様式は市公式ホームページからダウンロードできます。総務課契約係で貸し出しも準備しています
【提出方法】持参または郵送
【問い合わせ】総務部総務課(契約係)
〒987-0511 登米市迫町佐沼字中江2-6-1
☎0220(22)2091

水道管の防寒対策は
お済みですか

■水道管防寒対策
凍結防止用ヒーターのコンセントは確実に差し込む
▼長期間留守にする場合など



【問い合わせ】
▼水道事業所水道管理課(業務係) ☎0220(52)3311
▼水道お客様センター ☎0120(023)1511

川管理係) ☎0220(34)2365
▼各総合支所市民課
【国道・県道に関する問い合わせ】
▼東部土木事務所登米地域事務所(道路管理班) ☎0220(22)2716

は、水抜栓を使い水道管の水を抜く
▼メーターボックス内は、メーター保温材や発泡スチロールで凍結防止する
※メーター保温材は、12月から水道事業所および各総合支所で無料配布しています
■凍結応急手当
▼凍ったところにタオルなどをかぶせて、ぬるま湯をかける(熱湯は蛇口などを破裂させる恐れがあります)
▼蛇口や水道管が破裂したときは、水抜栓を閉め、給水工事指定店に修理を依頼してください。水抜栓の場所が分からないときは、破損箇所をタオルを巻きつけて、給水工事指定店に修理を依頼してください(修理費用は、全て自己負担となります)

市は、新しく降り積もった雪の量がおおむね10cm以上の場合、町域ごとに除雪作業をします。作業は幹線道路を優先します。町域全体が完了するまでには時間を要しますので、ご理解ください。
なお、除雪作業による自宅付近の雪だまりは、住民の皆さんで処理いただくようご協力をお願いします。
降雪や路面凍結によって、走行などに支障があると思われる場合は、ご連絡ください。
【市道に関する問い合わせ】
▼建設部土木管理課(道路河

市は、新しく降り積もった雪の量がおおむね10cm以上の場合、町域ごとに除雪作業をします。作業は幹線道路を優先します。町域全体が完了するまでには時間を要しますので、ご理解ください。
【問い合わせ】産業経済部産業連携推進課(産業連携係) ☎0220(34)2549

除雪作業にご理解
ご協力ください

地域の中小企業に必要な新たな発想によるマーケティングや事業革新するための考え方について講義します。
【日時】12月19日(水)午後5時30分～7時30分(受け付けは午後5時)
【場所】中田農村環境改善センター(多目的ホール)
【演題】地域の中小企業の事業革新～生き残りを賭けた事業のイノベーションの考え方～
【講師】東北大学大学院経済学研究科藤本雅彦教授
【参加者】20人
【参加費】無料
【申し込み・問い合わせ】
▼東北大学大学院経済学研究科地域イノベーション研究センター ☎0222(217)6265
☎0222(217)6266
✉rips@grp.tohoku.ac.jp

実践的な考え方を講義
東北大学経営セミナー

川管理係) ☎0220(34)2365
▼各総合支所市民課
【国道・県道に関する問い合わせ】
▼東部土木事務所登米地域事務所(道路管理班) ☎0220(22)2716

市内事業者向け
メールマガジンを配信

市内事業者向けの補助事業の募集や講習会・セミナーの案内など、各種情報をメールマガジンで配信しています。

市内事業者向け
メールマガジンを配信

市内事業者向けの補助事業の募集や講習会・セミナーの案内など、各種情報をメールマガジンで配信しています。

川管理係) ☎0220(34)2365
▼各総合支所市民課
【国道・県道に関する問い合わせ】
▼東部土木事務所登米地域事務所(道路管理班) ☎0220(22)2716

ときめき人

Tokimeki bito



夢は日本一の 畜産農家 家畜審査競技会 優秀賞

東和町・米川3区

佐藤 太洋さん

さとう たいよう
2001年生まれ 登米総合産業高3年

日本学校農業クラブ全国大会
家畜審査競技会(肉牛の部)

雌育成牛・雌子牛各4頭を目視
や接しながら比較し、総合順位
や部位ごとの優劣をつける体型
審査の正確さを競う。

(右)鹿児島県で開催された全国
大会で牛に触りながら審査に集
中する佐藤さん。



「全国で評価され、優秀賞をとれたことがうれし
い。いい経験になった」と笑顔で話す佐藤さん。

市内の兼業農家に生まれ、幼い頃から畜産業を
手伝ってきた。「農業高校の全国大会があると知
り、やるなら畜産で全国一になりたい」と、高校入
学前から農業クラブ全国大会で一番になることが
目標だった。3年生となった今年、牛を審査する能
力を競う家畜審査競技会(肉牛の部)県大会で、見
事2位の成績を収め、登米総合産業高では初の全
国大会出場を決めた。

全国大会は鹿児島県で開かれ、全国から89人も
の出場者が集まった。家畜審査競技会はいかに牛
を早く正確に審査できるかが勝負のポイント。「時
間との勝負だが、焦ったら絶対にうまくいかない。

よく周りを見て、今までもらったアドバイスを思
い出しながら確実に審査していくことを心掛け
た」と振り返る。結果は県内の高校生で唯一の優秀
賞に輝いた。「優秀賞はうれしいが、全国一になる
という目標を達成できず悔しい。この経験をこれ
からの人生に生かしていきたい」と前を向く。顧問
の高橋建一先生は「太洋は真面目の一言。休みの日
も自主的に牛の世話に登校し、どの生徒よりも牛
という時間が長かった」と舌を巻く。

「今後は岩手県の農業大学に進学し、より専門的
な知識を学んで、兄貴と慕っている小野寺正人さ
んのように、登米市で全国和牛能力共進会で日本
一になれる牛を育てたい」。

さらに大きな舞台へ、新たな挑戦が始まる。

編集後記

▼今回は、ライフスタイル
に合わせて生活する場所を
選択した人たち取材。自
然の中で生活できることが
本当に幸せそうでした。若
いときは都会に憧れていた
こともありましたが、季節
の風や匂いを感じられ、子
どもたちの元気な笑い声が
聞こえてくる今の生活に幸
せを感じています。(高橋)

▼先日、高校生が職場体験
として、広報紙の取材の様
子や記事の作り方などを見
学しに来ました。見学に来
た高校生は、すごく真面目
で、学ぶ姿勢や物事に真剣
に取り組む姿など、逆にこ
ちらが学ばせてもらいま
した。これからも初心を忘
れないようにしていこうと
思います。(三浦)

▼広報は、広報公聴係で編
集しています。係名に「広
聴」とあるように、市民の皆
さんの声を大切にしていま
す。10、11月は各町域、さまざ
まな年代の皆さんの話を聴
く機会に恵まれ、皆さんの
知りたいことが伝わる広報
作りをしなくてはとあらた
めて感じました。(小野寺)



登米市メール配信サービス

(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。)

<https://mail.cous.jp/tomeicity/>

